

府 中 市

次世代育成支援に関する  
市民意向調査

調査報告書  
< 概要版 >

平成21年3月

府 中 市

# 目 次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
<b>1 調査目的</b> .....	<b>3</b>
<b>2 調査の種類と対象者</b> .....	<b>3</b>
<b>3 各調査の概要</b> .....	<b>3</b>
(1) 就学前児童調査 .....	3
(2) 小学生調査 .....	4
(3) 中学生・高校生世代調査 .....	4
(4) ひとり親家庭調査 .....	4
<b>第2章 各調査の結果</b> .....	<b>5</b>
<b>1 就学前児童調査</b> .....	<b>7</b>
(1) 基本属性 .....	7
(2) 日ごろの子育て .....	8
(3) 保育サービスの利用状況 .....	12
(4) 地域における子育て支援サービス .....	13
(5) 子育て支援サービスに関する情報 .....	14
(6) 児童虐待防止 .....	15
(7) 安全なまちづくり .....	15
(8) 子育てと仕事の両立 .....	16
<b>2 小学生調査</b> .....	<b>17</b>
(1) 基本属性 .....	17
(2) 日ごろの子育て .....	18
(3) 子どもの日々の過ごし方 .....	22
(4) 児童虐待防止 .....	23
(5) 安全なまちづくり .....	24
(6) 子育てと仕事の両立 .....	24
<b>3 中学生・高校生世代調査</b> .....	<b>26</b>
(1) 基本属性 .....	26
(2) 日ごろの生活 .....	27
(3) 携帯電話及びインターネットの利用状況 .....	28
(4) 日ごろ関心のあることや感じていること .....	29
(5) 悩み .....	32
(6) 地域生活 .....	33

( 7 ) いじめ	33
( 8 ) 自分にとって大切なこと	34
( 9 ) 市に実施してほしいこと	35

<b>4 ひとり親家庭調査</b>	<b>36</b>
( 1 ) 基本属性	36
( 2 ) 仕事	37
( 3 ) 暮らし向き	38
( 4 ) 日ごろの子どもの過ごし方	39
( 5 ) 子育ての悩み	41
( 6 ) ひとり親家庭への支援制度	43

# 第 1 章 調査の概要

## 1 調査目的

府中市では、「次世代育成支援対策推進法」に基づき、前期行動計画として、平成17年3月に「府中市次世代育成支援行動計画」(平成17年度～21年度)を策定した。

本調査は、後期行動計画(平成22年度～26年度)策定に向けて、市民の子育て支援に関する生活実態や意見・要望を把握するため、市内に居住する児童の保護者と中・高生世代及びひとり親世帯を対象に実施したものである。

## 2 調査の種類と対象者

本調査では、以下の4つの調査を実施している。

区分	調査名	対象者	調査方法	調査時期
調査1	就学前児童調査	就学前児童の保護者 3,000人	郵送配布	平成20年 10月30日～ 11月17日
調査2	小学生調査	小学生の保護者 2,000人		
調査3	中学生・高校生世代調査	中学生 1,000人、 高校生世代 500人		
調査4	ひとり親家庭調査	ひとり親世帯 500人		

## 3 各調査の概要

### (1) 就学前児童調査

調査対象	市内に居住する就学前児童(0～5歳)の保護者 3,000人 平成20年10月1日現在の住民基本台帳及び外国人登録原票より層化無作為抽出	
配布・回収数(率)	配布数: 3,000 有効回収数(回収率): 2,022(67.4%)	
調査項目	1. 基本属性 2. 日ごろの子育て 3. 保護者の就労状況 4. 保育サービスの利用状況 5. 保育サービスの利用希望 6. 子どもが病気の場合の対応 7. 一時あずかり 8. トワイライトステイ、ショートステイ、産前産後家庭サポート 9. 学童クラブ、放課後子ども教室	10. ベビーシッター 11. ファミリーサポートセンター 12. 地域における子育て支援サービス 13. 地域とのかかわり 14. 子育て支援サービスに関する情報 15. 児童虐待防止 16. 安全なまちづくり 17. 育児休業制度の利用 18. 子育てと仕事の両立 19. 市への要望

返送はあったが無記入の調査票は有効回収数に含めなかった。

## (2) 小学生調査

調査対象	市内に居住する小学生（6～11歳）の保護者 2,000人 平成20年10月1日現在の住民基本台帳及び外国人登録原票より層化無作為抽出	
配布・回収数（率）	配布数：2,000 有効回収数（回収率）：1,301（65.1%）	
調査項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本属性</li> <li>2. 日ごろの子育て</li> <li>3. 保護者の就労状況</li> <li>4. 子どもの日々の過ごし方</li> <li>5. 学童クラブ、放課後子ども教室</li> <li>6. 子どもが病気の場合の対応</li> <li>7. 一時あずかり</li> <li>8. ショートステイ （宿泊を伴う一時あずかり）</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>9. ベビーシッター</li> <li>10. ファミリーサポートセンター</li> <li>11. 地域とのかかわり</li> <li>12. 子育て支援サービスに関する情報</li> <li>13. 児童虐待防止</li> <li>14. 安全なまちづくり</li> <li>15. 子育てと仕事の両立</li> <li>16. 市への要望</li> </ol>

## (3) 中学生・高校生世代調査

調査対象	市内に居住する中学生（12～14歳） 1,000人 市内に居住する高校生世代（15～17歳） 500人 平成20年10月1日現在の住民基本台帳及び外国人登録原票より層化無作為抽出	
配布・回収数（率）	配布数：1,500 有効回収数（回収率）：851（56.7%）	
調査項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本属性</li> <li>2. 日ごろの生活</li> <li>3. 携帯電話及びインターネットの利用状況</li> <li>4. 日ごろ関心のあること、感じていること</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>5. 悩み</li> <li>6. 地域生活</li> <li>7. いじめ</li> <li>8. 自分にとって大切だと思うこと</li> <li>9. 市やおとなへの要望</li> </ol>

## (4) ひとり親家庭調査

調査対象	ひとり親世帯 500人 平成20年10月1日現在の住民基本台帳及び外国人登録原票より無作為抽出	
配布・回収数（率）	配布数：500 有効回収数（回収率）：303（60.6%）	
調査項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本属性</li> <li>2. 仕事</li> <li>3. 暮らし向き</li> <li>4. 日ごろの子育て</li> <li>5. 子どもの過ごし方</li> <li>6. 生活や子育ての心配ごと</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>7. 子育てサービスに関する情報</li> <li>8. 児童虐待防止</li> <li>9. 地域とのかかわり</li> <li>10. 子育てと仕事の両立</li> <li>11. 市への要望</li> </ol>

## 第2章 各調査の結果

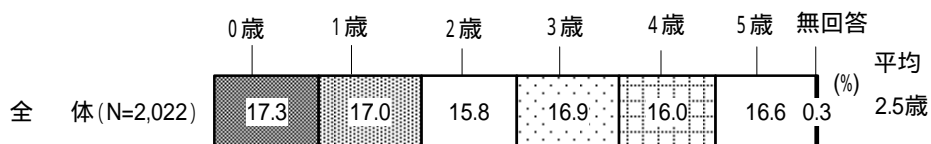
### <図表のみかた>

- 1 回答は、それぞれの質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示しています。それぞれの質問の回答者数は、全体（各調査区分の有効回答数）の場合はN（Number of case）、それ以外の内数等の場合にはnと表記しています。
- 2 ％は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。従って、回答の合計が必ずしも100.0%にならない場合（例えば99.9%、100.1%）があります。
- 3 年齢別、学年別などは、設問により未回答の方がいたため、各集計の数値が全体（N）とは一致しません。
- 4 回答者が2つ以上回答することのできる質問（複数回答）については、％の合計は100%を超えています。
- 5 本文及びグラフ中の設問文ならびに選択肢の表現は一部省略されています。

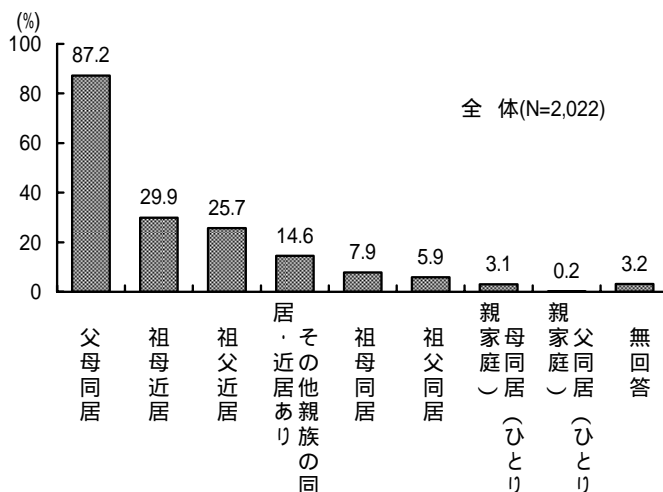
# 1 就学前児童調査

## (1) 基本属性

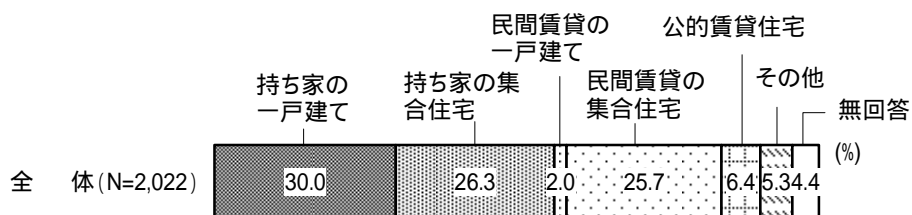
### 子どもの年齢



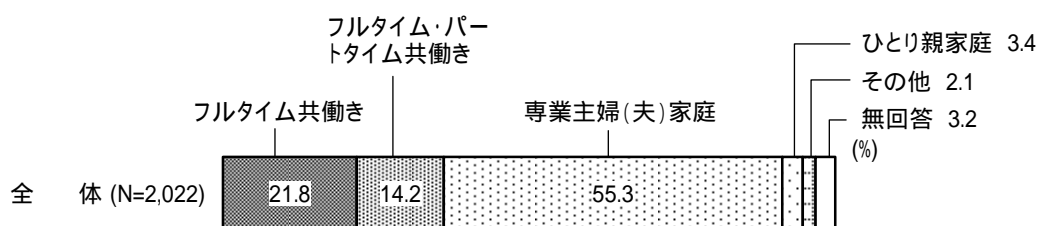
### 両親・祖父母の近居・同居：複数回答



### 住居形態



### 家族類型





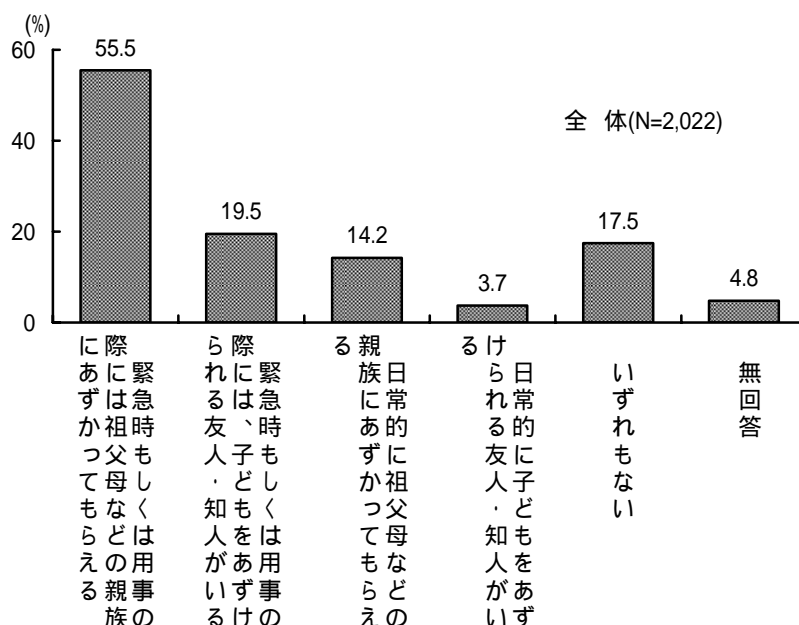
## (2) 日ごろの子育て

### 日ごろの子育て

日ごろ、子どもをあずかってくれる人の有無、父親の子育てへのかかわり方をたずねました。

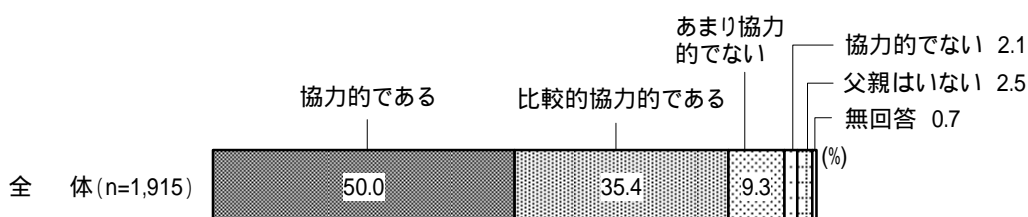
日ごろ、子どもをあずかってくれる人の有無は、「緊急時、用事の際には祖父母等の親族にあずかってもらえる」が55.5%で最も多く、次いで「緊急時などの際には子どもをあずけられる友人・知人がいる」が19.5%となっている。また、「いずれもない」が17.5%となっている。

日ごろ、子どもをあずかってくれる人の有無（全体：複数回答）



主たる保育者が母親の場合に母親から見た父親の子育てへの関わり方は、「協力的である」が50.0%であり、「比較的協力的である」の35.4%と合計すると85.4%となる。一方、「あまり協力的でない」の9.3%と「協力的でない」の2.1%を合計すると11.4%となる。

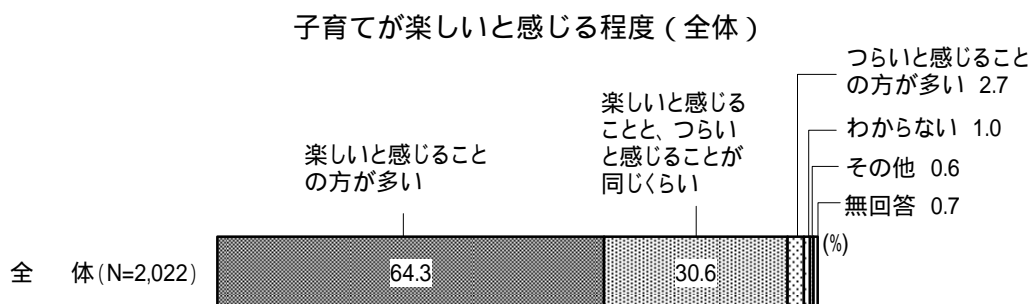
父親の子育てへの関わり方（全体）  
 <主たる保育者が「母親」と回答した人>



## 子育てが楽しいと感じる程度

子育てが楽しいと感じる程度をたずねました。

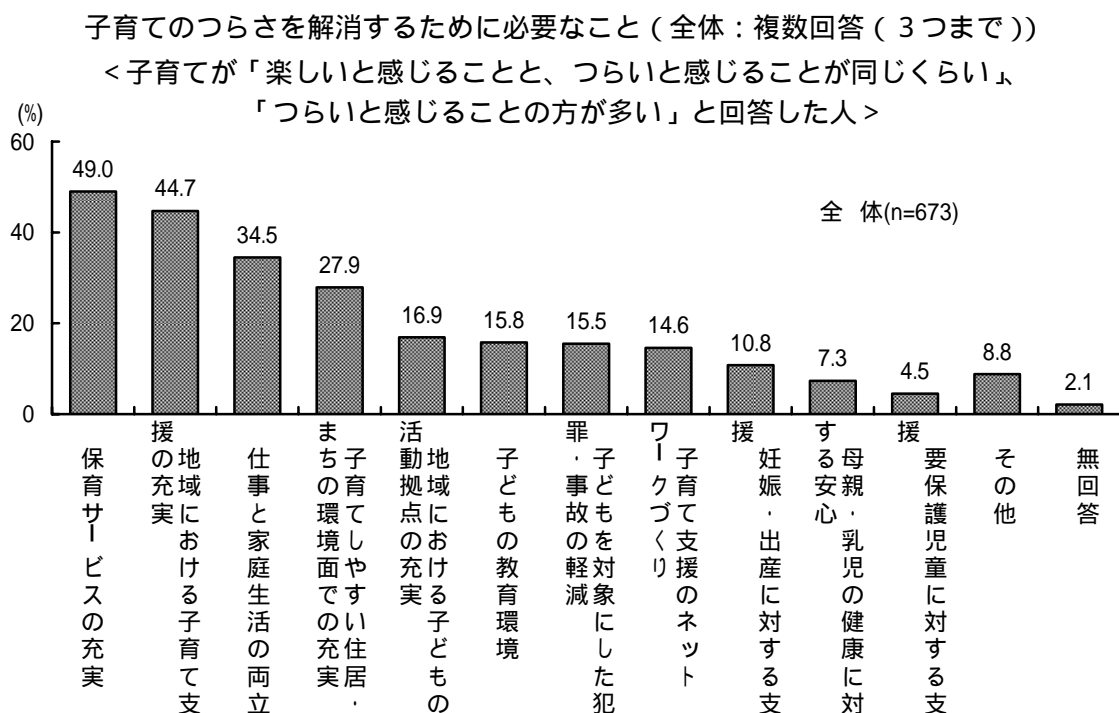
子育てが楽しいと感じる程度は、「楽しいと感じることの方が多い」が64.3%、「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」が30.6%となっている。



## 必要な支援策

子育てのつらさを解消するために必要なことをたずねました。

子育てが「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」または「つらいと感じることの方が多い」と回答した人に、子育てのつらさを解消するために必要だと考えることをたずねたところ、「保育サービスの充実」が49.0%で最も多く、次いで「地域における子育て支援の充実」が44.7%、「仕事と家庭生活の両立」が34.5%となっている。



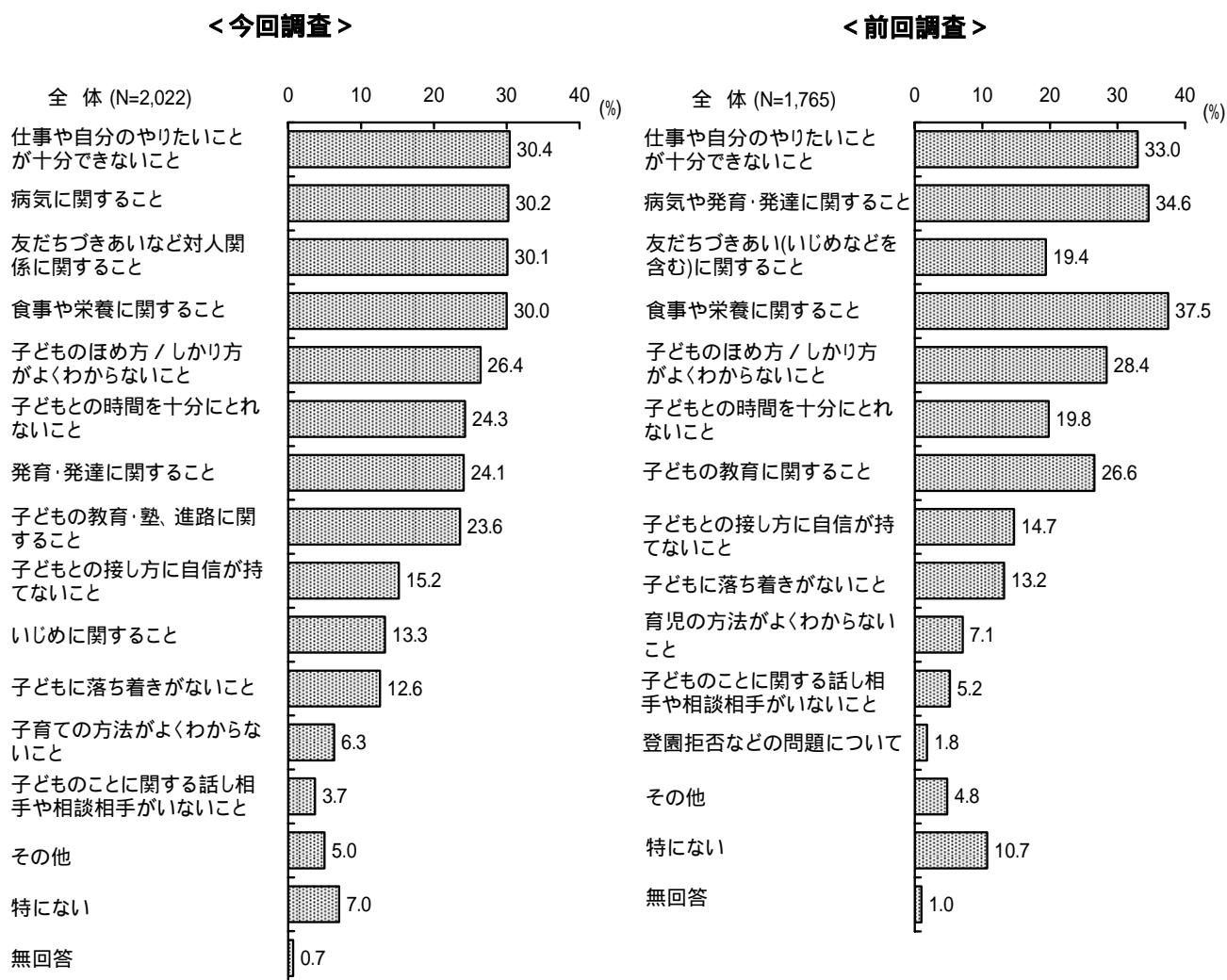
## 子育ての悩み

子育てで日ごろ悩んでいること、気になることをたずねました。

### < 前回調査との比較 >

子育てで日ごろ悩んでいること、気になることを前回調査と比較すると、前回調査・今回調査ともに、「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」、「病気に関すること」、「食事や栄養に関すること」が上位となっている。また、今回調査では、「友だちづきあいなど友達関係に関すること」も30%を超え多くなっている。

子育ての中で日ごろ悩んでいること（全体：複数回答）



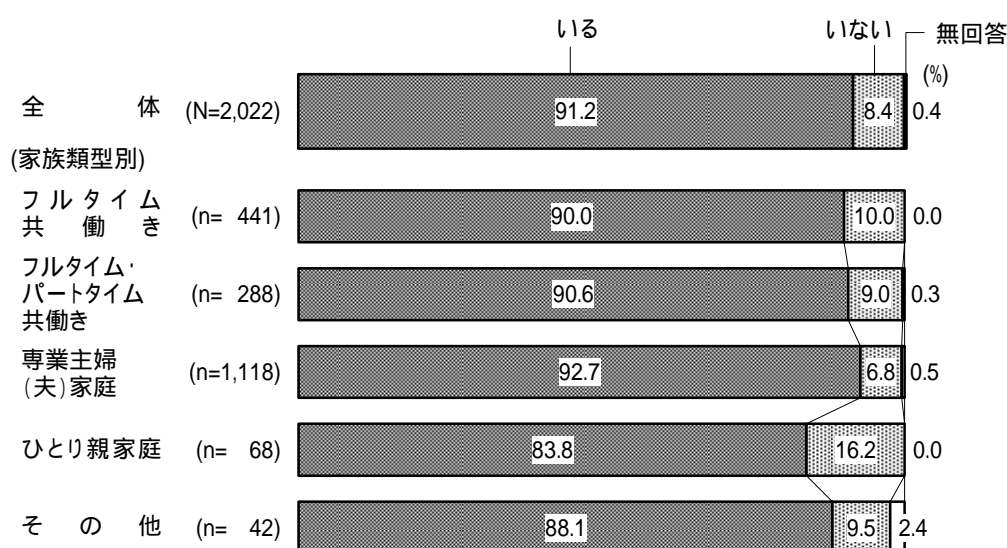
## 子育ての相談

子育てについて気軽に相談できる人の有無と、相手についてたずねました。

子育てについて気軽に相談できる人の有無は、「いる」が 91.2%、「いない」が 8.4%となっている。

家族類型別にみると、ひとり親家庭は「いない」が 16.2%であり、全体を 7.8 ポイント上回っている。

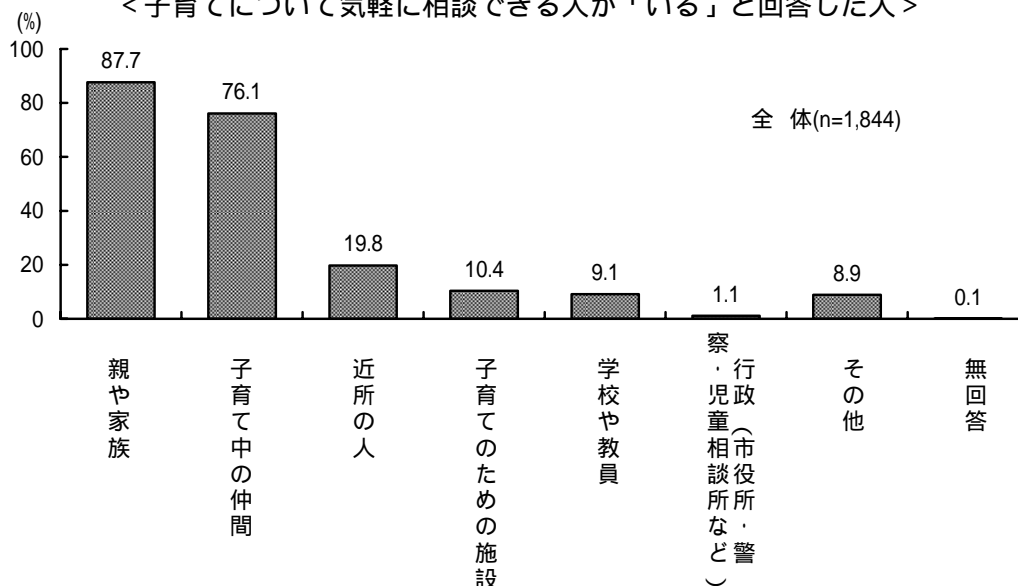
子育てについて気軽に相談できる人の有無（全体、家族類型別）



子育てについて気軽に相談できる人がいる場合に、気軽に相談できる人は誰かをたずねたところ、「親や家族」が 87.7%で最も多く、次いで「子育て中の仲間」が 76.1%となっている。

気軽に相談できる人（全体：複数回答）

<子育てについて気軽に相談できる人が「いる」と回答した人>



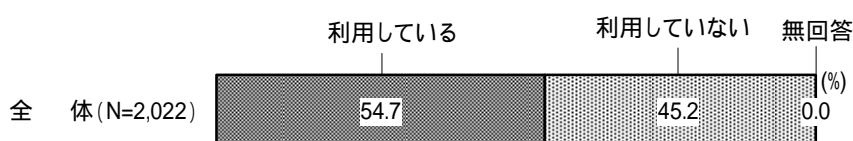
### (3) 保育サービスの利用状況

#### 保育サービスの利用

保育サービスの利用の有無をたずねました。

保育サービスの利用は、「利用している」が54.7%、「利用していない」が45.2%となっている。

保育サービスの利用の有無（全体）

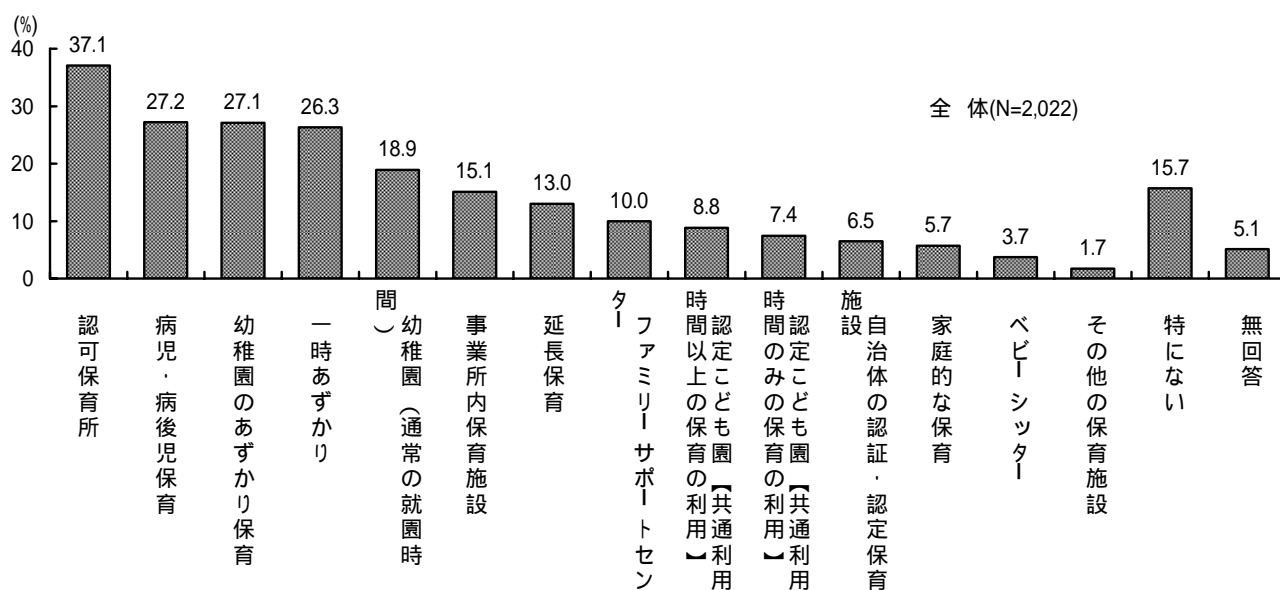


#### 保育サービスの利用希望

利用したい、あるいは現在足りていないと思う保育サービスをたずねました。

利用したい、あるいは現在足りていないと思う保育サービスは、「認可保育所」が37.1%で最も多く、次いで「病児・病後児保育」が27.2%、「幼稚園のあずかり保育」が27.1%、「一時あずかり」が26.3%となっている。

利用したい、現在足りていないと思う保育サービス（全体：複数回答）

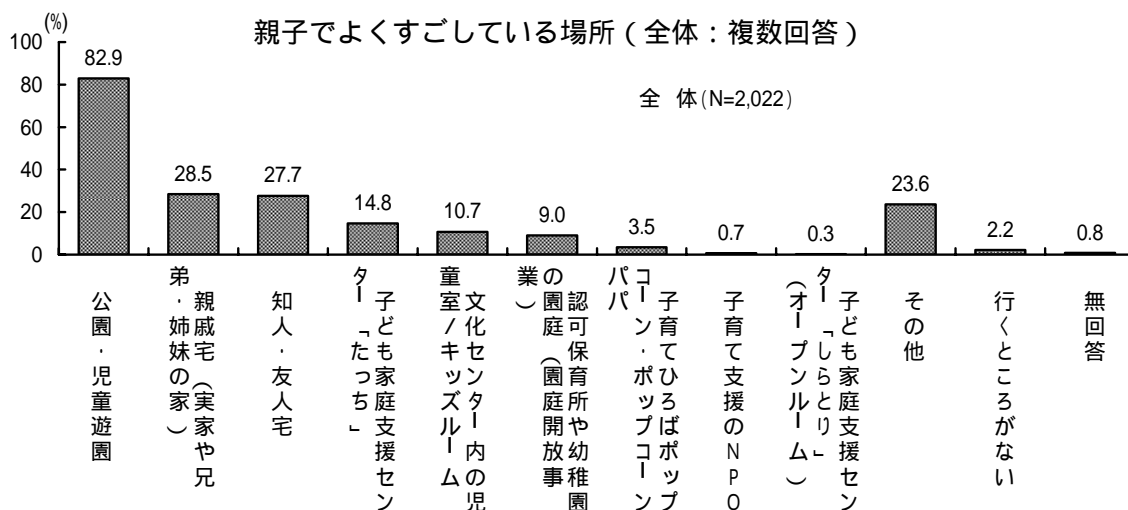


## (4) 地域における子育て支援サービス

### 親子でよくすごす場所

親子でよくすごしている場所をたずねました。

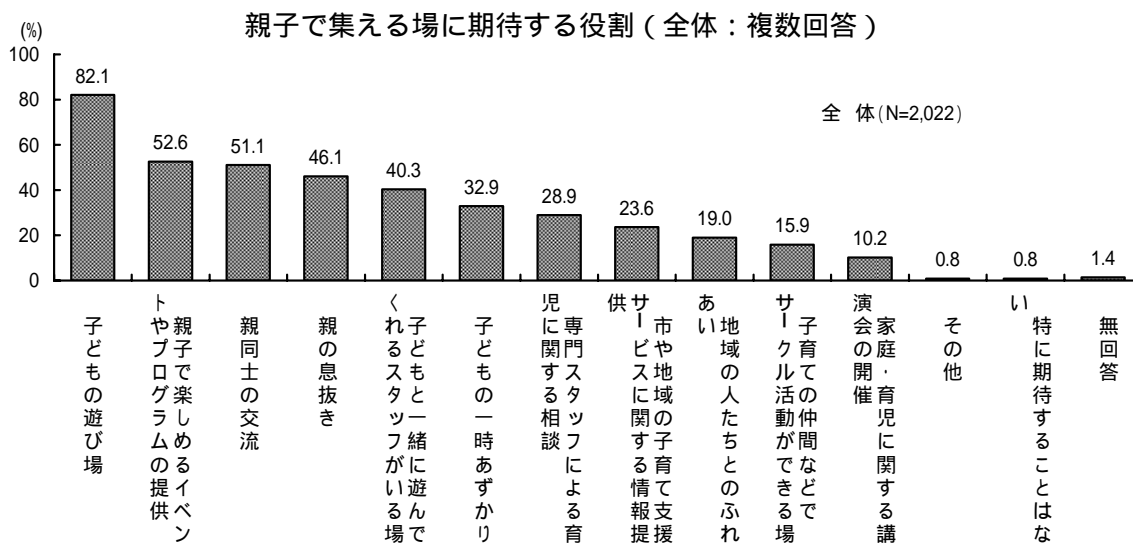
平日の日中や休日に親子でよくすごしている場所は、「公園・児童遊園」が82.9%で最も多く、次いで「親戚宅」が28.5%となっている。



### 親子で集える場に期待する役割

親子で集える場に期待する役割をたずねました。

親子で集える場に期待する役割は、「子どもの遊び場」が82.1%で最も多く、次いで「親子で楽しめるイベントやプログラムの提供」が52.6%、「親同士の交流」が51.1%となっている。



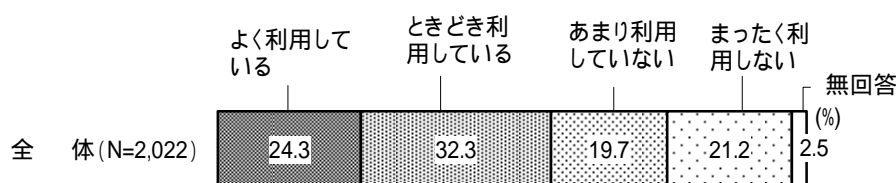
### (5) 子育て支援サービスに関する情報

#### インターネットの利用

子育て情報入手のためのインターネット利用をたずねました。

子育てに関する情報入手手段としてのインターネットの利用状況は、「よく利用している」が24.3%、「ときどき利用している」が32.3%で、合計すると利用している人は56.6%となる。

子育て情報入手のためにインターネットを利用しているか(全体)

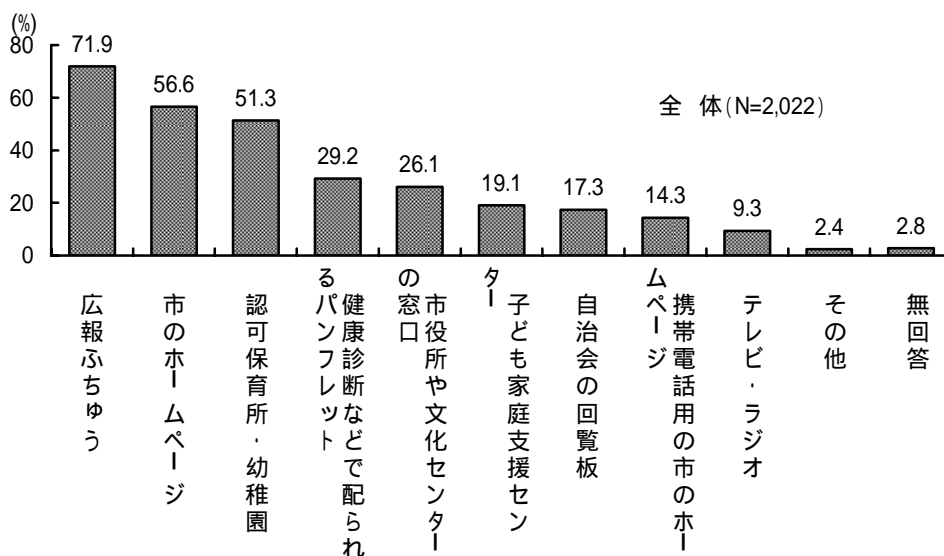


#### 情報源

子育て支援サービスに関する情報源をたずねました。

子育て支援サービスに関する情報源としてよいと思うものは、「広報ふちゅう」が71.9%で最も多く、次いで「市のホームページ」が56.6%、「認可保育所・幼稚園」が51.3%となっている。

子育て支援サービスの情報源としてよいと思うもの(全体：複数回答)



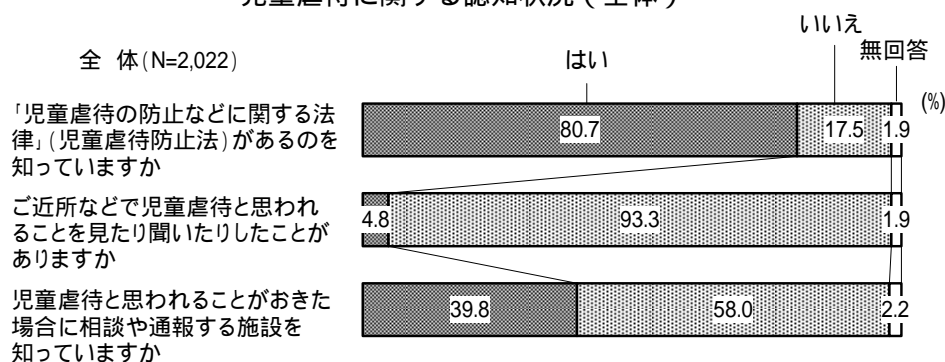
## (6) 児童虐待防止

### 児童虐待の認知

児童虐待に関する認知状況をたずねました。

児童虐待に関する認知状況は、「児童虐待の防止などに関する法律」(児童虐待防止法)があるのを知っていますか」では「はい」が80.7%となっている。「児童虐待と思われることがおきた場合に相談や通報する施設を知っていますか」では「はい」が39.8%となっている。また、「ご近所などで児童虐待と思われることを見たり聞いたりしたことがありますか」では「はい」が4.8%(98人)となっている。

児童虐待に関する認知状況(全体)



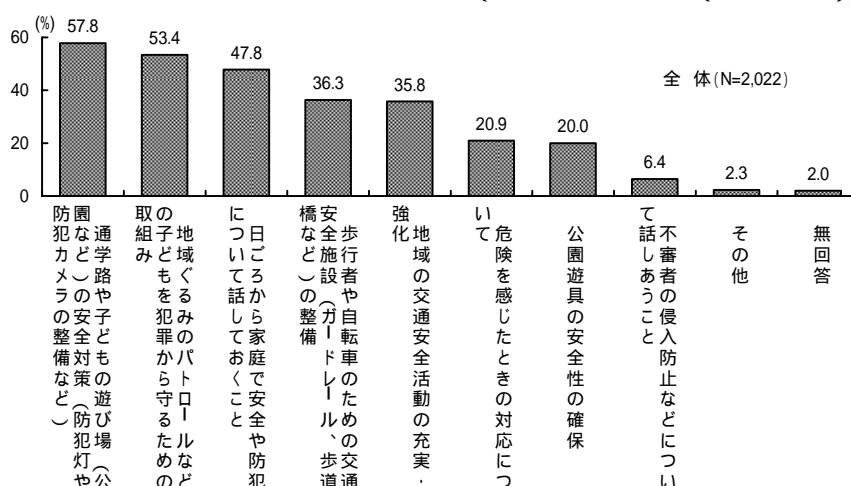
## (7) 安全なまちづくり

### 安全なまちづくり

子どもの安全を守るために必要なことをたずねました。

子どもの安全を守るために必要なことは、「通学路や子どもの遊び場の安全対策」が57.8%で最も多く、次いで「地域ぐるみのパトロールなどの子どもを犯罪から守るための取組み」が53.4%となっている。

子どもの安全を守るために必要なこと(全体:複数回答(3つまで))



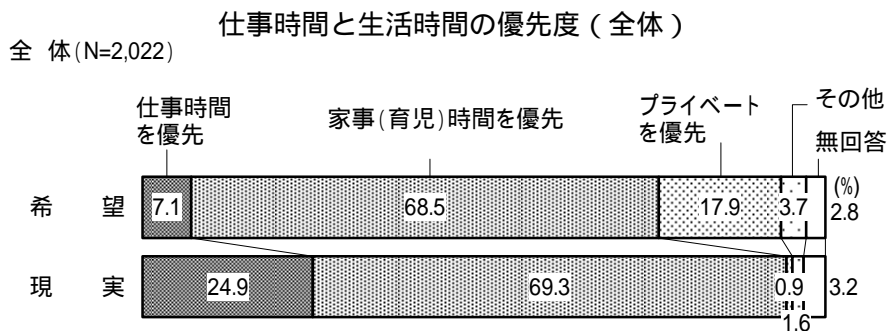


(8) 子育てと仕事の両立

### 仕事時間と生活時間

仕事時間と生活時間の優先度の希望と現実をたずねました。

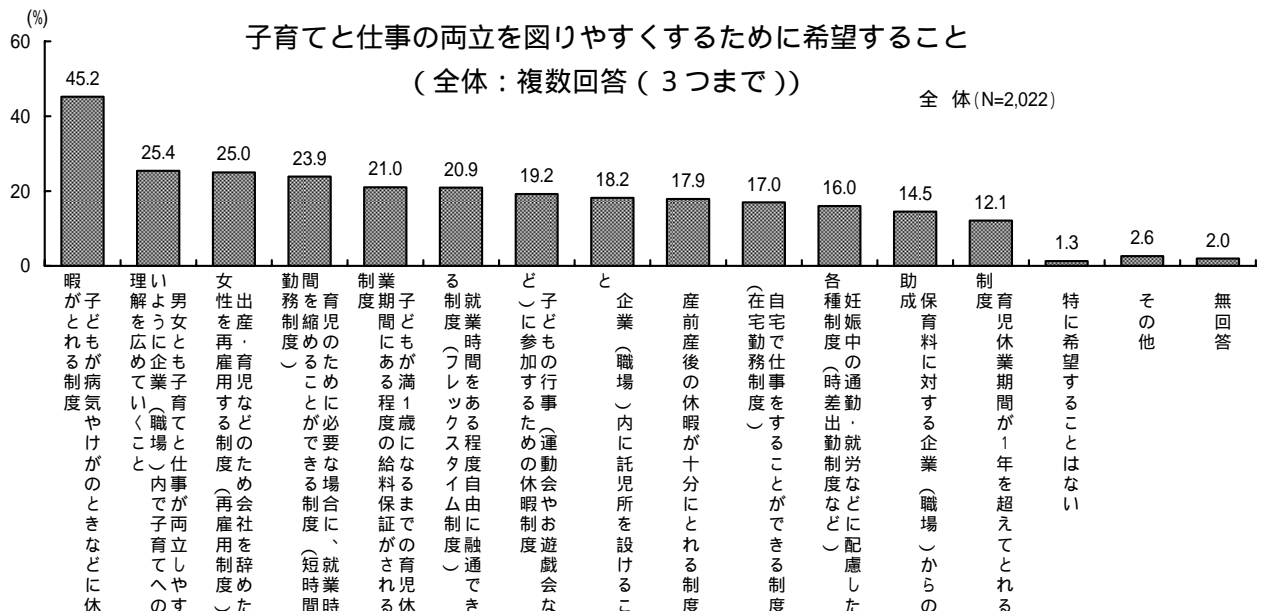
仕事時間と生活時間の優先度は、希望、現実ともに「家事（育児）時間を優先」が最も多く、それぞれ 68.5%、69.3%となっている。希望としては「プライベートを優先」が 17.9%であるものの、現実には 0.9%であり、「家事（育児）時間」や「仕事時間」を優先せざるを得ない状況となっている。



### 子育てと仕事の両立支援

子育てと仕事の両立を図りやすくするために希望することをたずねました。

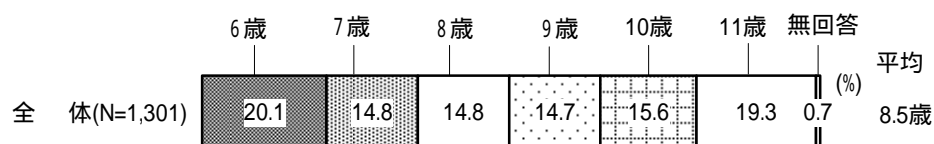
男女とも子育てと仕事の両立を図りやすくするために企業（職場）に希望することは、「子どもが病気やけがのときなどに休暇がとれる制度」が 45.2%で最も多く、次いで「男女ともに子育てと仕事が両立しやすいように、企業（職場）内で子育てへの理解を広めていくこと」が 25.4%、「出産・育児などのため会社を辞めた女性を再雇用する制度（再雇用制度）」が 25.0%となっている。



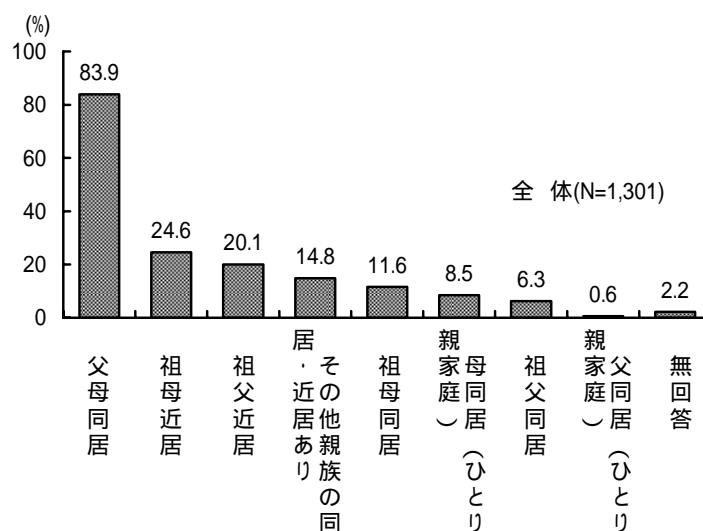
## 2 小学生調査

### (1) 基本属性

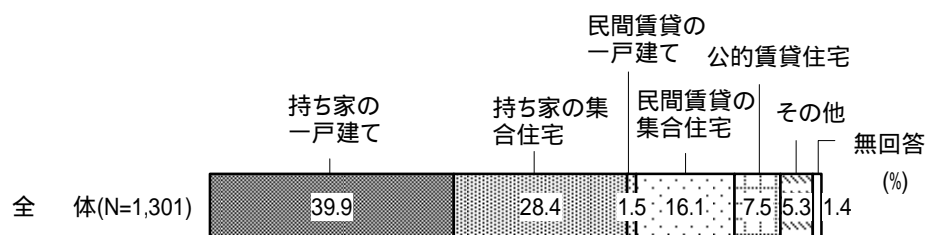
#### 子どもの年齢



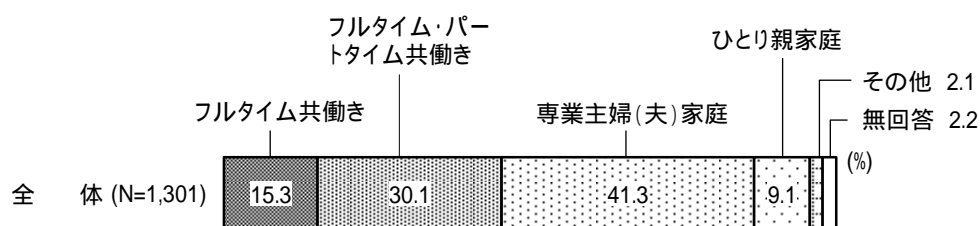
#### 両親・祖父母の近居・同居：複数回答



#### 住居形態



#### 家族類型



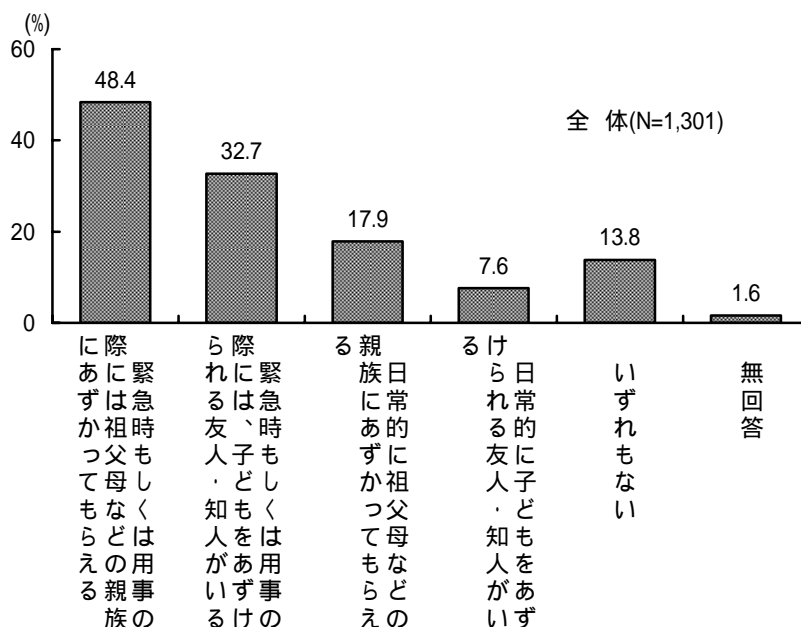
## (2) 日ごろの子育て

### 日ごろの子育て

日ごろ、子どもをあずかってくれる人の有無、父親の子育てへのかかわり方をたずねました。

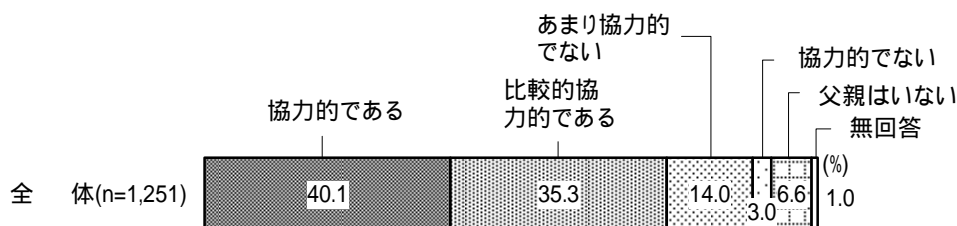
日ごろ、子どもをあずかってくれる人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にあずかってもらえる」が48.4%で最も多く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをあずけられる友人・知人がいる」が32.7%となっている。また、「いずれもない」が13.8%となっている。

日ごろ、子どもをあずかってくれる人の有無（全体：複数回答）



主たる保育者が母親の場合に母親から見た父親の子育てへの関わり方は、「協力的である」が40.1%で最も多く、「比較的協力的である」の35.3%と合計すると75.4%となる。一方、「あまり協力的でない」の14.0%、「協力的でない」の3.0%を合計すると17.0%となる。

父親の子育てへの関わり方（全体）  
 <主たる保育者が「母親」と回答した人>

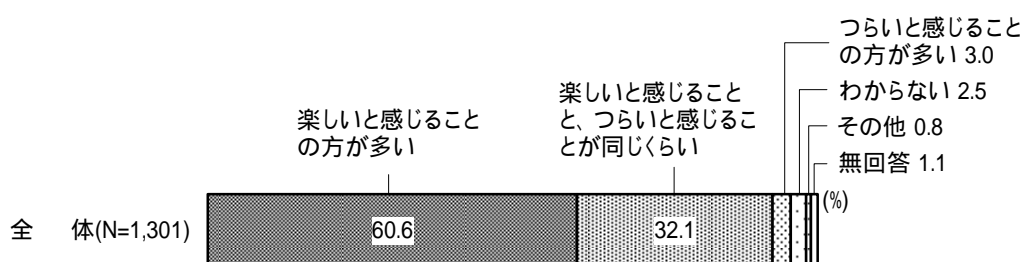


## 子育てが楽しいと感じる程度

子育てが楽しいと感じる程度をたずねました。

子育てが楽しいと感じる程度は、「楽しいと感じることの方が多い」が60.6%であり、「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」が32.1%となっている。

子育てが楽しいと感じる程度（全体）



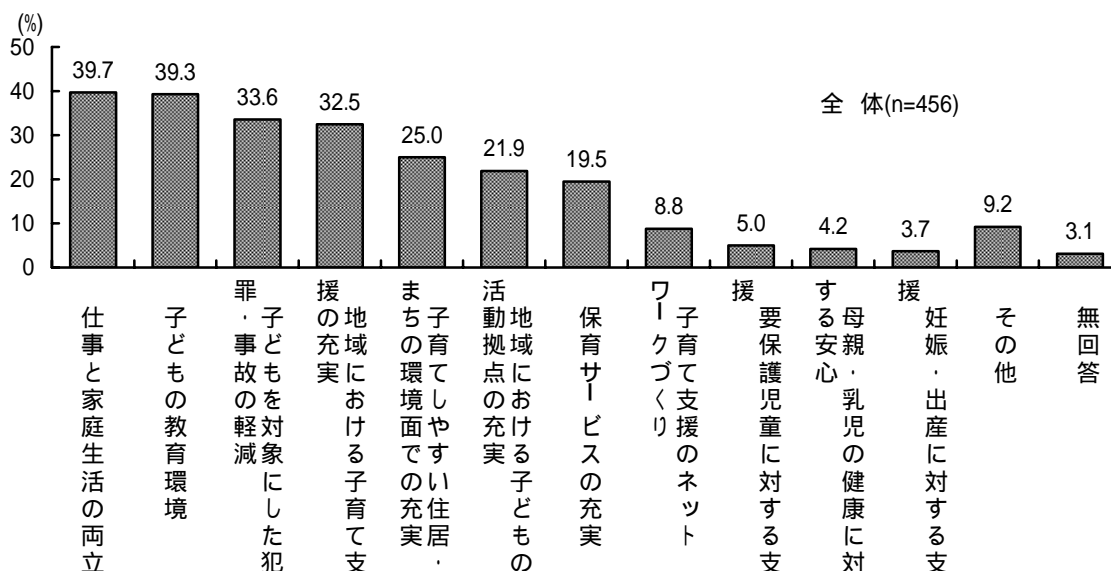
## 必要な支援策

子育てのつらさを解消するために必要なことをたずねました。

子育てについて「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」または「つらいと感じることの方が多い」と回答した人に、子育てのつらさを解消するために必要なことをたずねたところ、「仕事と家庭生活の両立」が39.7%で最も多く、次いで「子どもの教育環境」が39.3%、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が33.6%となっている。

子育てのつらさを解消するために必要なこと（全体：複数回答（3つまで））

<子育てが「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」、  
「つらいと感じることの方が多い」と回答した人>



## 子育ての悩み

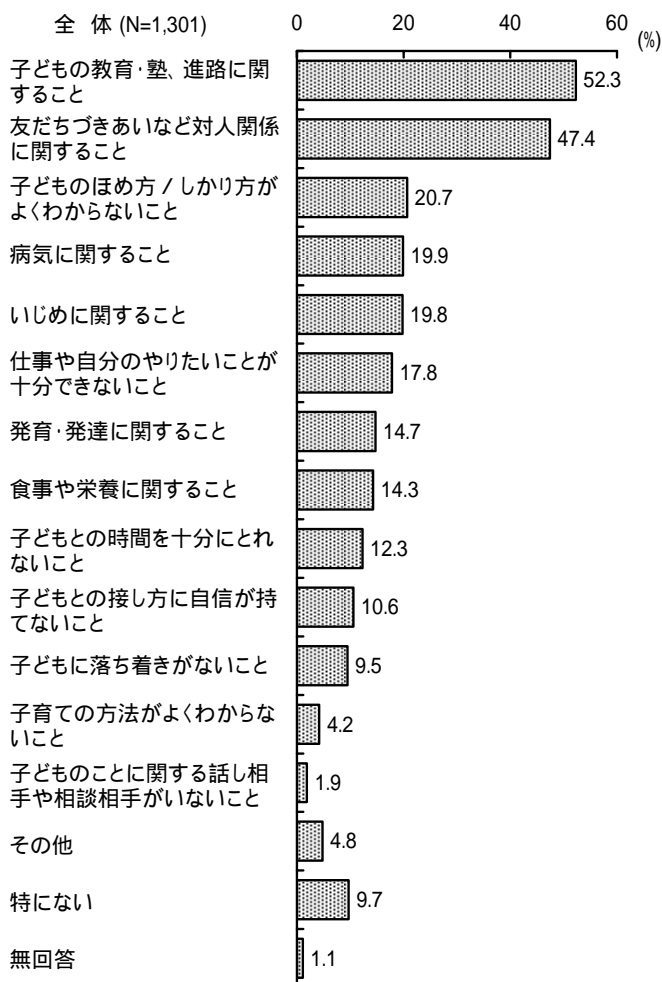
子育てで日ごろ悩んでいること、気になることをたずねました。

### < 前回調査との比較 >

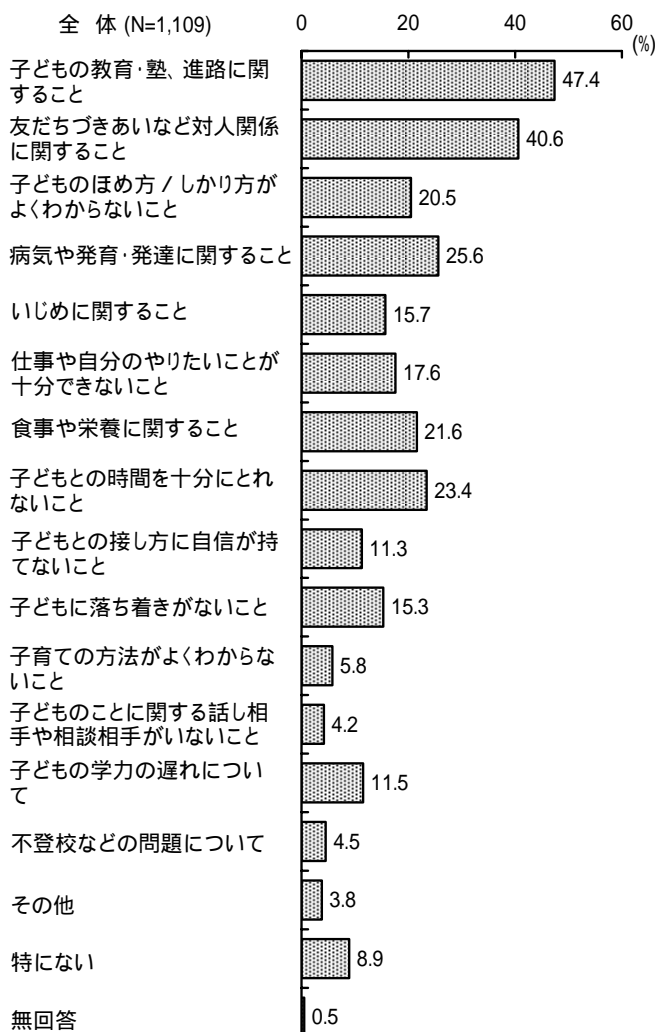
子育ての中で日ごろ悩んでいること、気になることを前回調査と比較すると、前回調査・今回調査ともに、「子どもの教育・塾、進路に関すること」、「友だちづきあいなど友達関係に関すること」が上位となっている。

子育ての中で日ごろ悩んでいること（全体：複数回答）

#### < 今回調査 >



#### < 前回調査 >

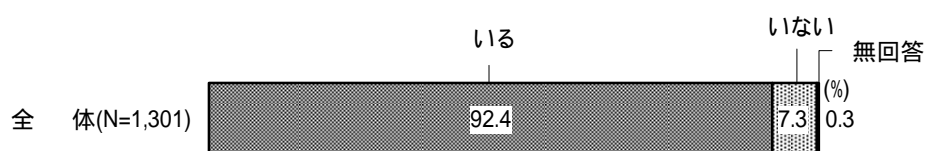


## 子育ての相談

子育てについて気軽に相談できる人の有無と、相手についてたずねました。

子育てについて気軽に相談できる人の有無は、「いる」が 92.4%であり、「いない」が 7.3%となっている。

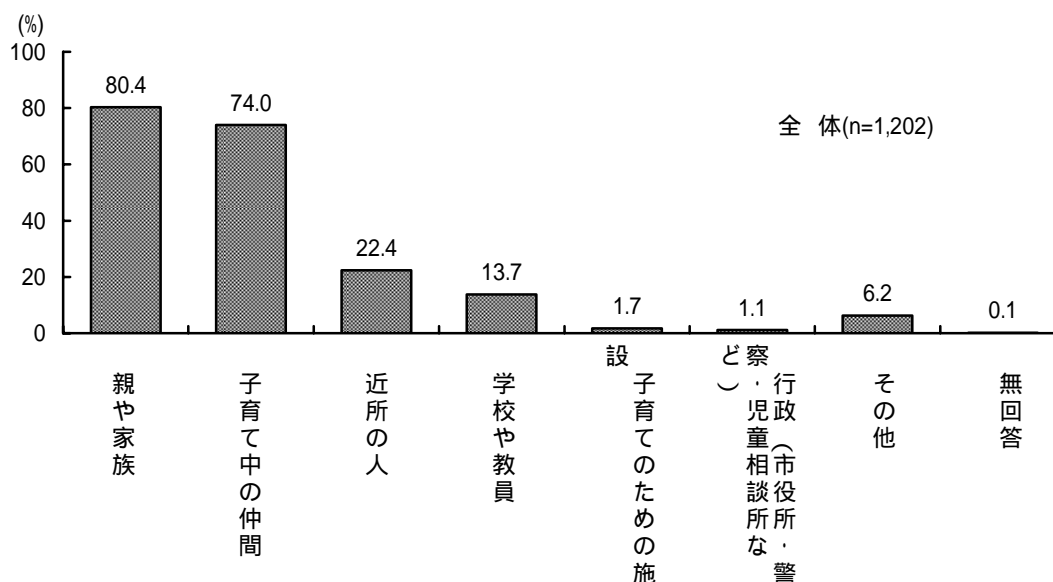
子育てについて気軽に相談できる人の有無（全体）



子育てについて気軽に相談できる人がいる場合に、気軽に相談できる人は誰かをたずねたところ、「親や家族」が 80.4%で最も多く、次いで「子育て中の仲間」が 74.0%となっている。

気軽に相談できる人（全体：複数回答）

<子育てについて気軽に相談できる人が「いる」と回答した人>



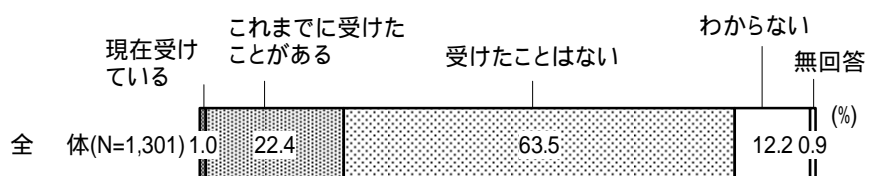
### (3) 子どもの日々の過ごし方

#### いじめ

「いじめ」または「いじめと思われること」を受けた経験をたずねました。

子どもが「いじめ」または「いじめと思われること」を受けた経験は、「現在受けている」が1.0%であり、「これまでに受けたことがある」の22.4%を合計すると、23.4%がいじめを受けた経験があると答えている。

「いじめ」または「いじめと思われること」を受けた経験の有無（全体）

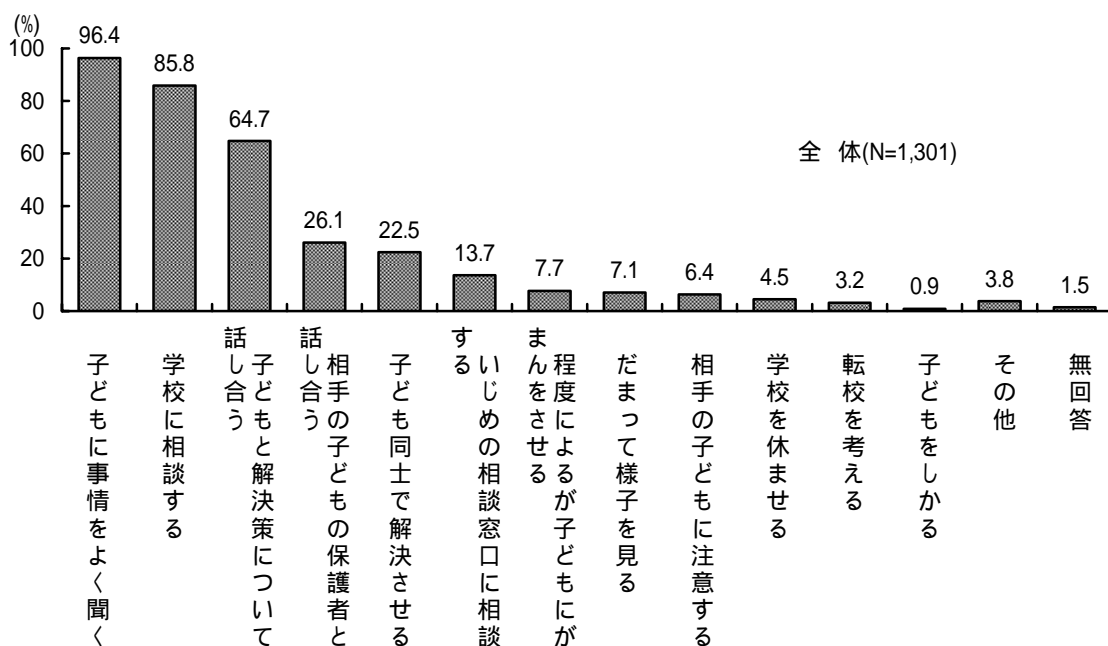


#### いじめを受けたときの対処法

「いじめ」または「いじめと思われること」を受けたときの対処法をたずねました。

子どもが「いじめ」または「いじめと思われること」を受けたときの対処法は、「子どもに事情をよく聞く」が96.4%で最も多く、次いで「学校に相談する」が85.8%、「子どもと解決策について話し合う」が64.7%となっている。

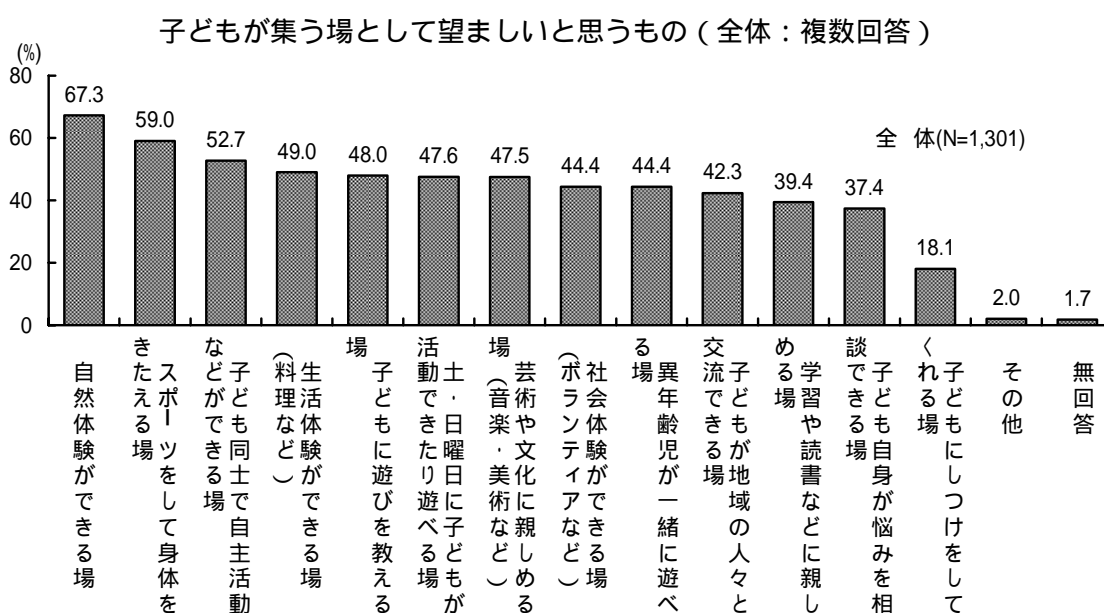
「いじめ」または「いじめと思われること」を受けたときの対処法（全体：複数回答）



## 子どもが集う場

身近な地域で子どもが集う場として望ましいと思うものをたずねました。

身近な地域で子どもが集う場として望ましいと思うものは、「自然体験ができる場」が67.3%で最も多く、次いで「スポーツをして身体をきたえる場」が59.0%、「子ども同士で自主活動などができる場」が52.7%となっている。

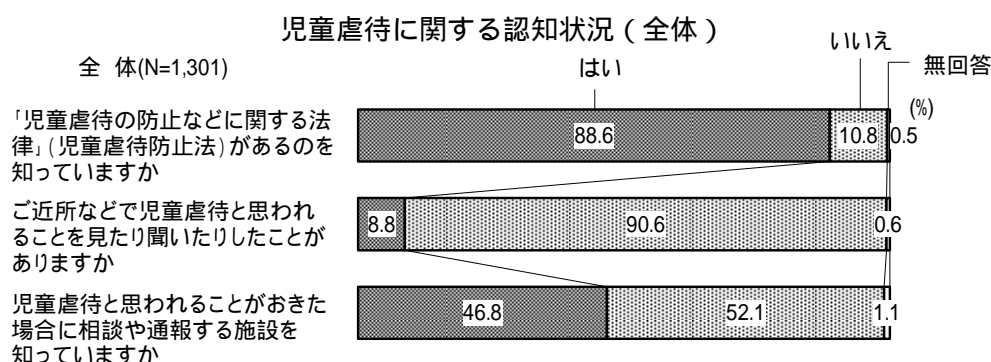


## (4) 児童虐待防止

### 児童虐待の認知

児童虐待に関する認知状況をたずねました。

児童虐待に関する認知状況は、「児童虐待の防止などに関する法律」(児童虐待防止法)があるのを知っていますか」では「はい」が88.6%となっている。「児童虐待と思われることがおきた場合に相談や通報する施設を知っていますか」では「はい」が46.8%になっている。また、「ご近所などで児童虐待と思われることを見たり聞いたりしたことがありますか」では「はい」が8.8% (114人) となっている。





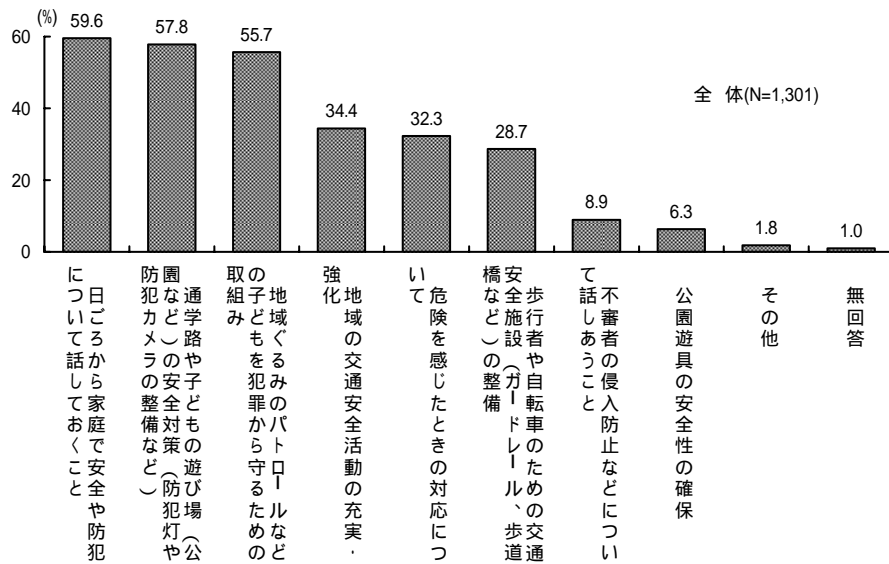
### (5) 安全なまちづくり

## 安全なまちづくり

子どもの安全を守るために必要なことをたずねました。

子どもの安全を守るために必要なことは、「日ごろから家庭で安全や防犯について話しておくこと」が 59.6%で最も多く、次いで「通学路や子どもの遊び場の安全対策」が 57.8%、「地域ぐるみのパトロールなどの子どもを犯罪から守るための取組み」が 55.7%となっている。

子どもの安全を守るために必要なこと（全体：複数回答（3つまで））



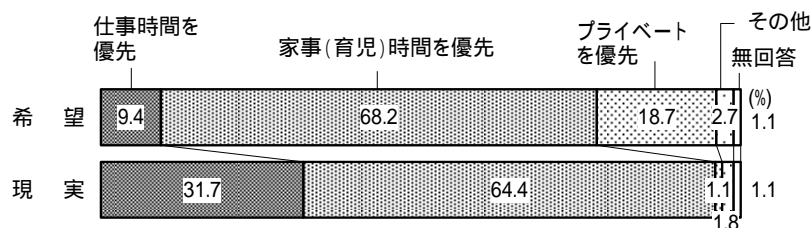
### (6) 子育てと仕事の両立

## 仕事時間と生活時間

仕事時間と生活時間の優先度の希望と現実をたずねました。

仕事時間と生活時間の優先度は、希望、現実ともに「家事(育児)時間を優先」が最も多く、60%以上となっている。希望としては「プライベートを優先」が 18.7%であるものの、現実には 1.1%となっている。また、希望では「仕事時間を優先」が 9.4%であるものの、現実には 31.7%となっている。

全体(N=1,301) 仕事時間と生活時間の優先度（全体）



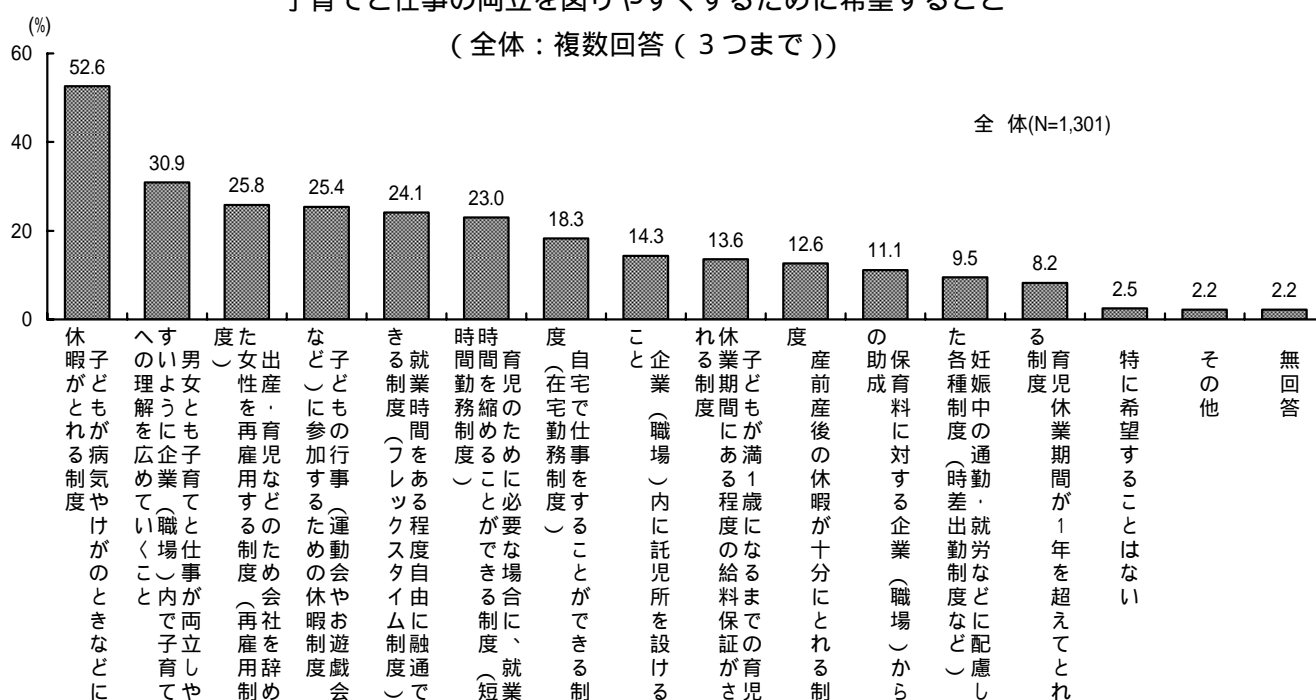
## 子育てと仕事の両立支援

子育てと仕事の両立を図りやすくするために希望することをたずねました。

男女とも子育てと仕事の両立を図りやすくするために企業（職場）に希望することは、「子どもが病気やけがのときなどに休暇がとれる制度」が 52.6%で最も多く、次いで「男女ともに子育てと仕事が両立しやすいように、企業（職場）内で子育てへの理解を広めていくこと」が 30.9%、「出産・育児などのため会社を辞めた女性を再雇用する制度（再雇用制度）」が 25.8%、「子どもの行事に参加するための休暇制度」が 25.4%となっている。

子育てと仕事の両立を図りやすくするために希望すること

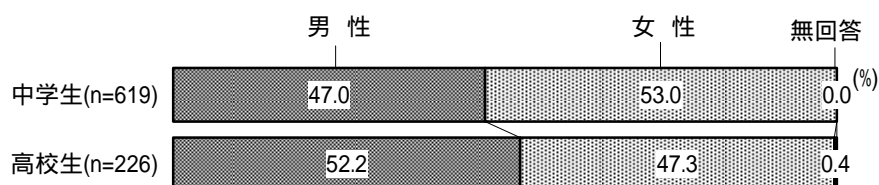
（全体：複数回答（3つまで））



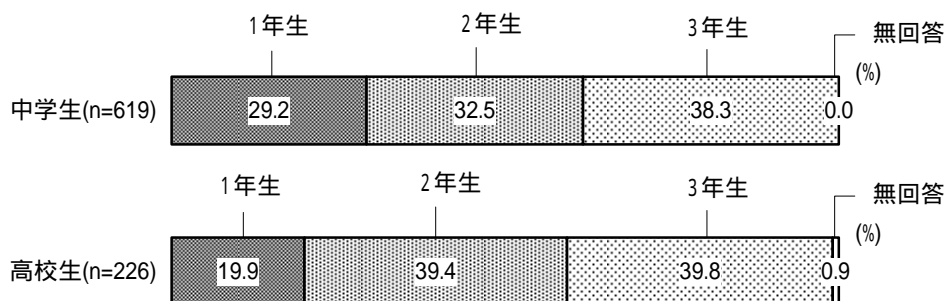
### 3 中学生・高校生世代調査

#### (1) 基本属性

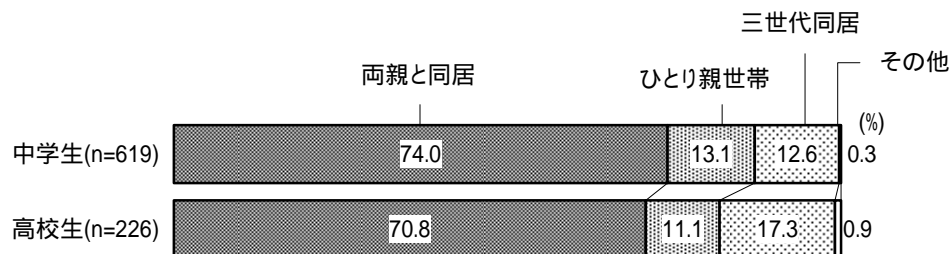
##### 性別



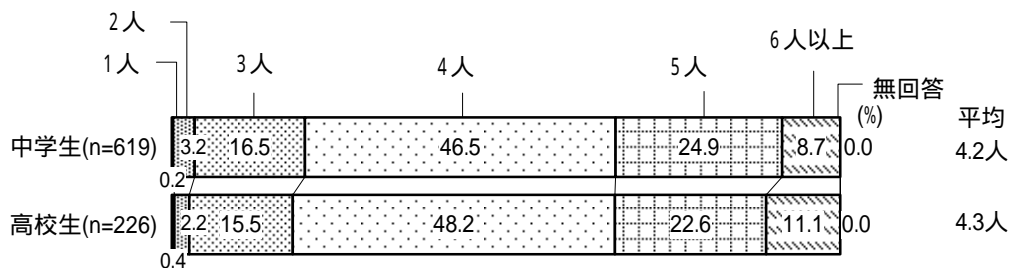
##### 学年



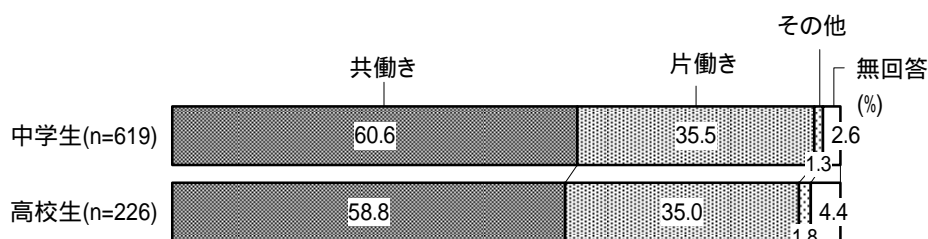
##### 家族構成



##### 同居する家族の人数



##### 父母の就労状況



## (2) 日ごろの生活

## 食事

朝食を食べる頻度、夕食を親と一緒に食べる頻度をたずねました。

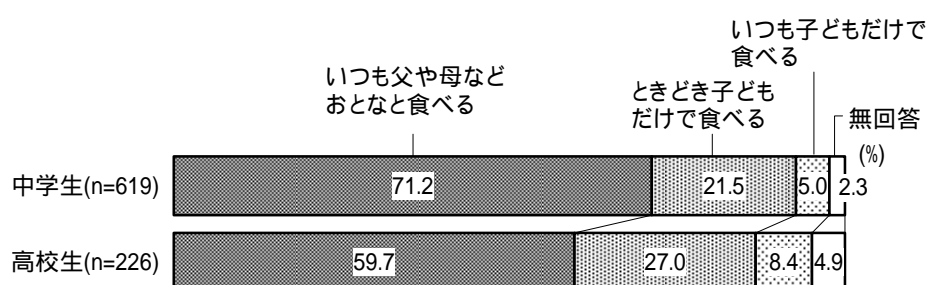
朝食の摂取状況は、中学生は「ほぼ毎日食べる」が88.7%となっている。高校生も「ほぼ毎日食べる」が81.4%となっている。しかし、「週に1～2日程度食べる」と「ほとんど食べない」を合計すると、中学生は5.9%、高校生は8.0%となっている。

夕食を家族と一緒に食べる頻度は、「いつも父や母などおとなと食べる」は、中学生は71.2%だが、高校生は59.7%となっている。

朝食の摂取状況（中学生・高校生）

		（%）				
		る ほぼ 毎日 食べ	程 度 週 に 3 ～ 5 日	程 度 週 に 1 ～ 2 日	な い ほ と ん ど 食 べ	無 回 答
中学生	(n=619)	88.7	3.2	2.3	3.6	2.3
高校生	(n=226)	81.4	6.2	2.7	5.3	4.4

夕食を家族と一緒に食べる頻度（中学生・高校生）



### (3) 携帯電話及びインターネットの利用状況

#### メールの利用

携帯電話やパソコンでのメールの利用についてたずねました。

携帯電話やパソコンでのメールの利用について、「現在、利用している」割合は、中学生は72.2%、高校生は91.2%となっている。

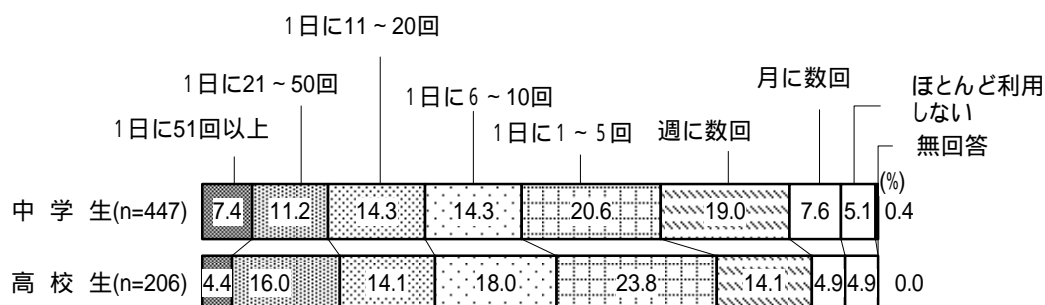
携帯電話やパソコンでのメールの利用（中学生・高校生）

		(%)				
		現在、 利用している	が、 現在は 利用して いない	利用する つもりは ない	わから ない	無回 答
中学生	(n=619)	72.2	15.3	5.7	5.0	1.8
高校生	(n=226)	91.2	3.5	0.9	2.7	1.8

メールの頻度は、中学生は「1日に1～5回」が20.6%で最も多く、次いで「週に数回」が19.0%となっている。高校生も「1日に1～5回」が23.8%で最も多いが、次いで多いのは「1日に6～10回」の18.0%となっている。

メールの頻度（中学生・高校生）

<携帯電話やパソコンで「メールを利用している」と回答した人>



## インターネットの利用

学校以外でのインターネットの利用についてたずねました。

学校以外でのインターネットの利用について、「現在、利用している」割合は、中学生は74.6%、高校生は86.3%となっている。

学校以外でのインターネットの利用状況（中学生・高校生）

		いる 現在、 利用して	用い しな たいが いは 、利 用し て	は な い 利 用 す る つ も り	わ か ら な い	無 回 答
中学生	(n=619)	74.6	12.6	5.8	4.8	2.1
高校生	(n=226)	86.3	6.6	3.1	2.2	1.8

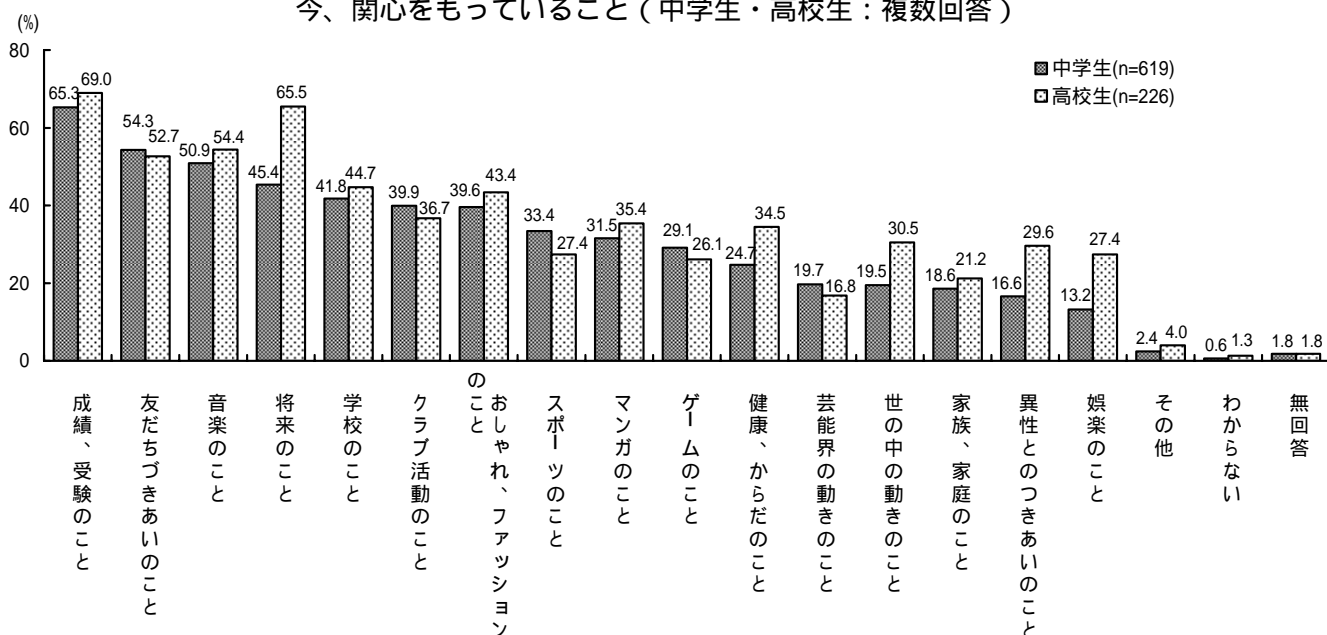
### （４）日ごろ関心のあることや感じていること

#### 関心をもっていること

今、どんなことに関心があるかたずねました。

今、関心をもっていることは、中学生は、「成績、受験のこと」が65.3%で最も多く、次いで「友だちづきあいのこと」が54.3%、「音楽のこと」が50.9%となっている。高校生は「成績、受験のこと」が69.0%で最も多く、次いで「将来のこと」が65.5%、「音楽のこと」が54.4%となっている。

今、関心をもっていること（中学生・高校生：複数回答）

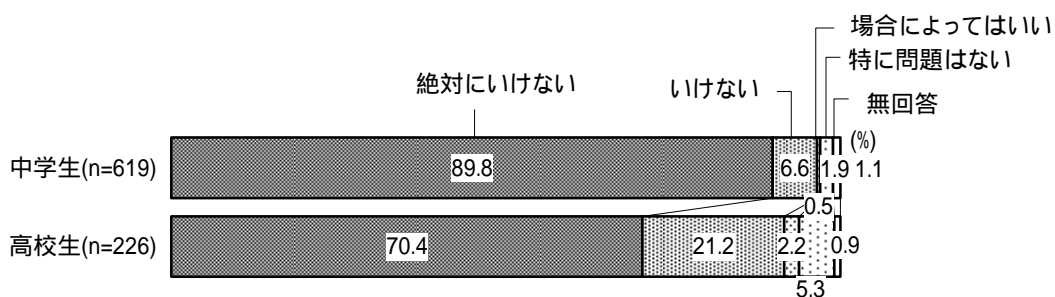


## 行動・行為についての考え

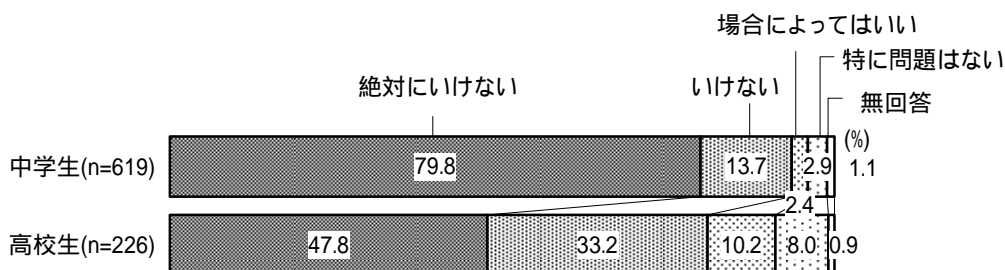
行動・行為についての考えをたずねました。

タバコを吸うことなどの行動・行為について、「絶対にいけない」と「いけない」を合計すると、「タバコを吸うこと」は中学生が96.4%、高校生が91.6%となっている。しかし、「酒を飲むこと」は、「絶対にいけない」と「いけない」を合計すると、中学生が93.5%、高校生が81.0%であり、「タバコを吸うこと」より低くなっている。

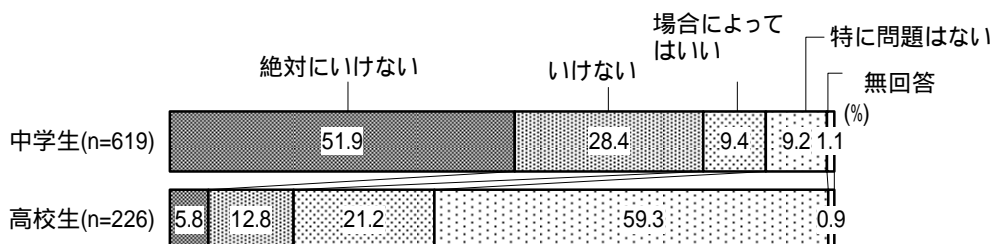
### タバコをすうこと（中学生・高校生）



### 酒を飲むこと（中学生・高校生）



### 学校の帰りにカラオケやゲームセンターに行くこと（中学生・高校生）



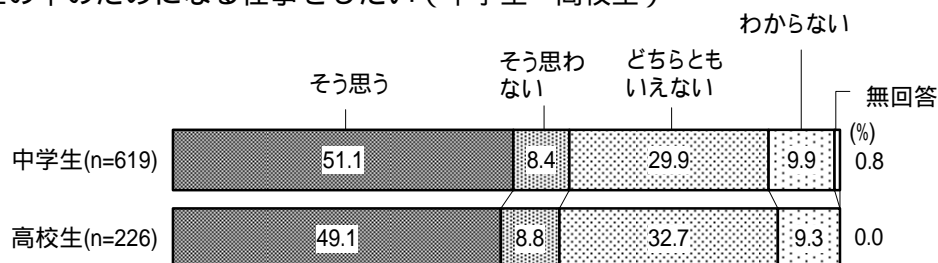
## 仕事や将来

仕事や将来についての考え方をたずねました。

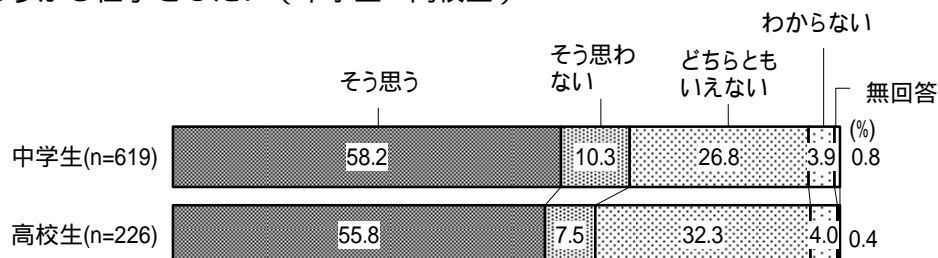
仕事や将来について「そう思う」の割合をみると、「個性を發揮できる仕事をしたい」で中学生は70.8%、高校生は63.3%であり最も多く、次いで「お金がもうかる仕事がしたい」で中学生は58.2%、高校生は55.8%となっている。

仕事や将来について「収入にかかわらず、フリーターなど自由な仕事をしたい」では、「そう思わない」が中学生は61.6%、高校生は67.7%となっている。

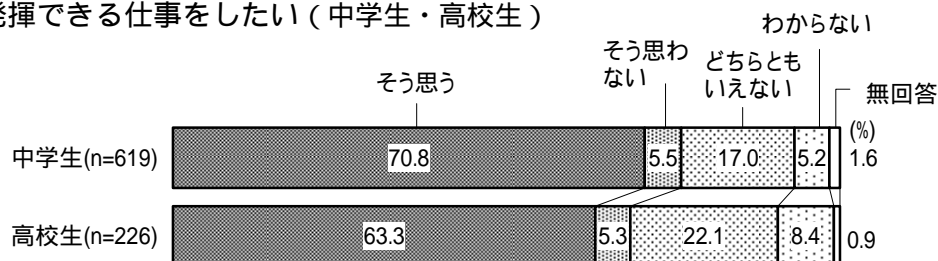
社会や世の中のためになる仕事をしたい(中学生・高校生)



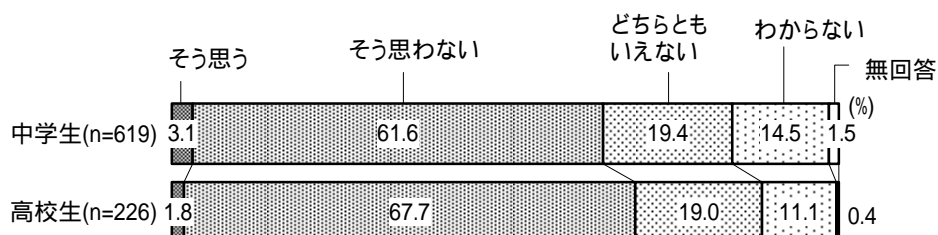
お金がもうかる仕事をしたい(中学生・高校生)



個性を發揮できる仕事をしたい(中学生・高校生)



収入にかかわらず、フリーターなど自由な仕事をしたい(中学生・高校生)



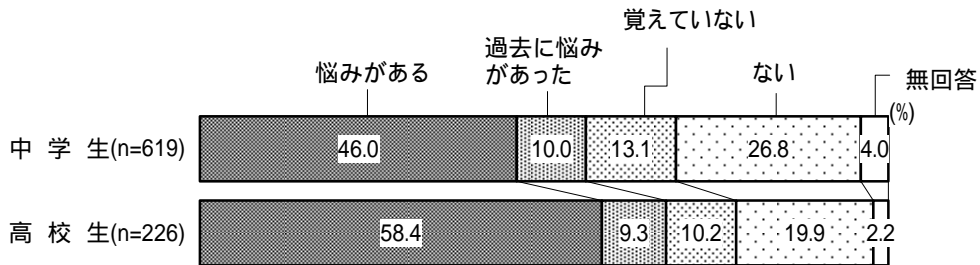


(5) 悩み

**悩み**  
悩みの有無と悩みの内容についてたずねました。

悩みについて、「悩みがある」は、中学生は46.0%、高校生は58.4%となっている。

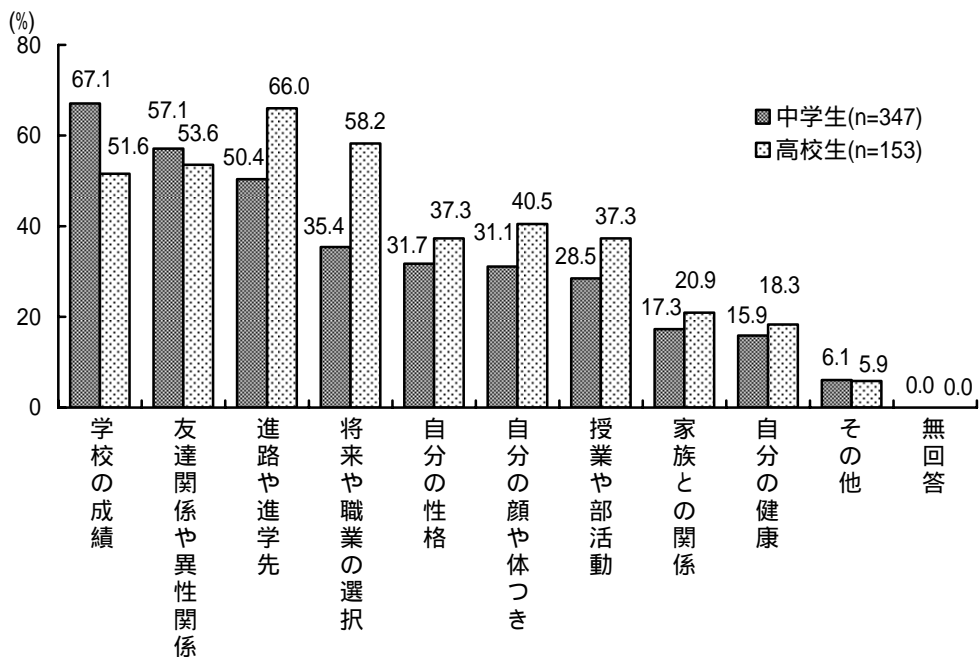
悩みの有無（中学生・高校生）



悩みの内容は、中学生では「学校の成績」が67.1%、「友達関係や異性関係」が57.1%、「進路や進学先」が50.4%、高校生では「進路や進学先」が66.0%、「将来や職業の選択」が58.2%、「友達関係や異性関係」が53.6%であり、それぞれ上位3項目となっている。

悩みの内容（中学生・高校生：複数回答）

< 「悩みがある」, 「過去に悩みがあった」と回答した人 >

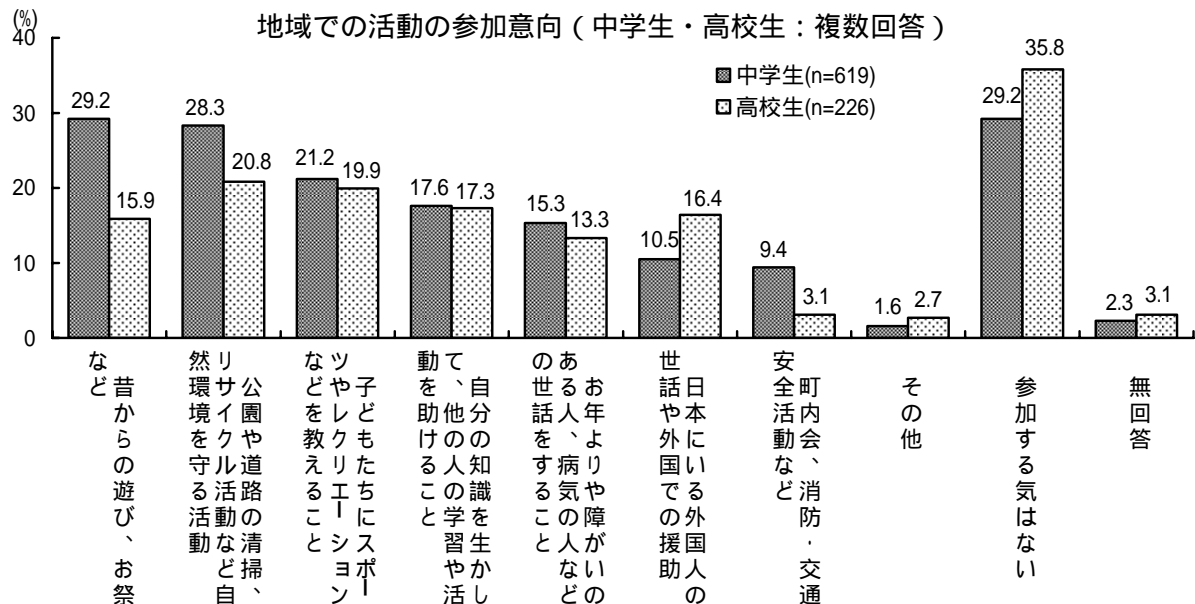


## (6) 地域生活

### 地域活動の参加意向

地域での活動の参加意向をたずねました。

地域での活動の参加意向は、中学生は「昔からの遊び、お祭りなど」が29.2%で最も多く、次いで「公園や道路の清掃、リサイクル活動など自然環境を守る活動」が28.3%となっている。高校生は「公園や道路の清掃、リサイクル活動など自然環境を守る活動」が20.8%で最も多く、次いで「子どもたちにスポーツやレクリエーションなどを教えること」が19.9%となっている。「参加する気はない」は中学生29.2%、高校生35.8%となっている。

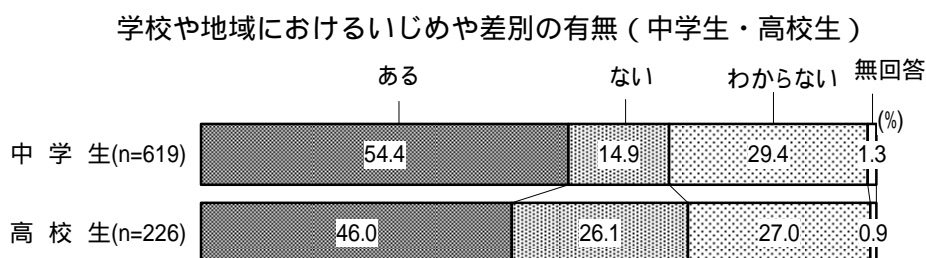


## (7) いじめ

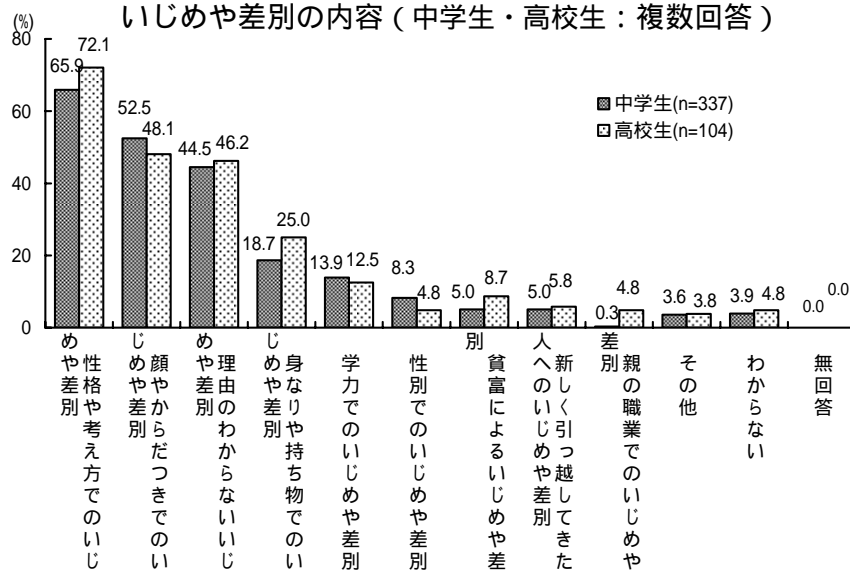
### いじめ

学校や地域におけるいじめや差別の有無とその内容についてたずねました。

学校や地域におけるいじめや差別の有無は、中学生では「ある」が54.4%、高校生では「ある」が46.0%となっている。



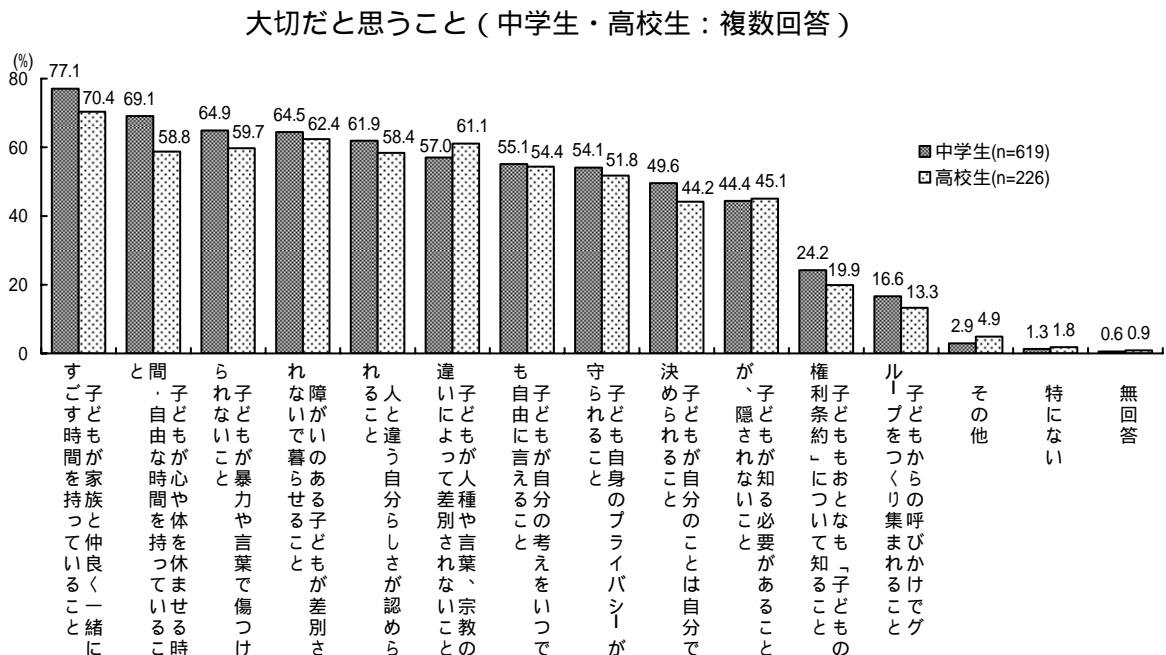
いじめや差別の内容は、中学生、高校生ともに、1位は「性格や考え方でのいじめや差別」で中学生は65.9%、高校生は72.1%、2位は「顔やからだつきでのいじめや差別」で中学生は52.5%、高校生は48.1%、3位は「理由のわからないいじめや差別」で中学生は44.5%、高校生は46.2%となっている。



### (8) 自分にとって大切なこと

**自分にとって大切なこと**  
自分にとって大切なことをたずねました。

自分にとって大切なこととは、中学生、高校生ともに「子どもが家族と仲良く一緒に過ごす時間を持っていること」が最も多くなっており、中学生は77.1%、高校生は70.4%となっている。中学生、高校生ともに50%を超える項目が8項目となっている。



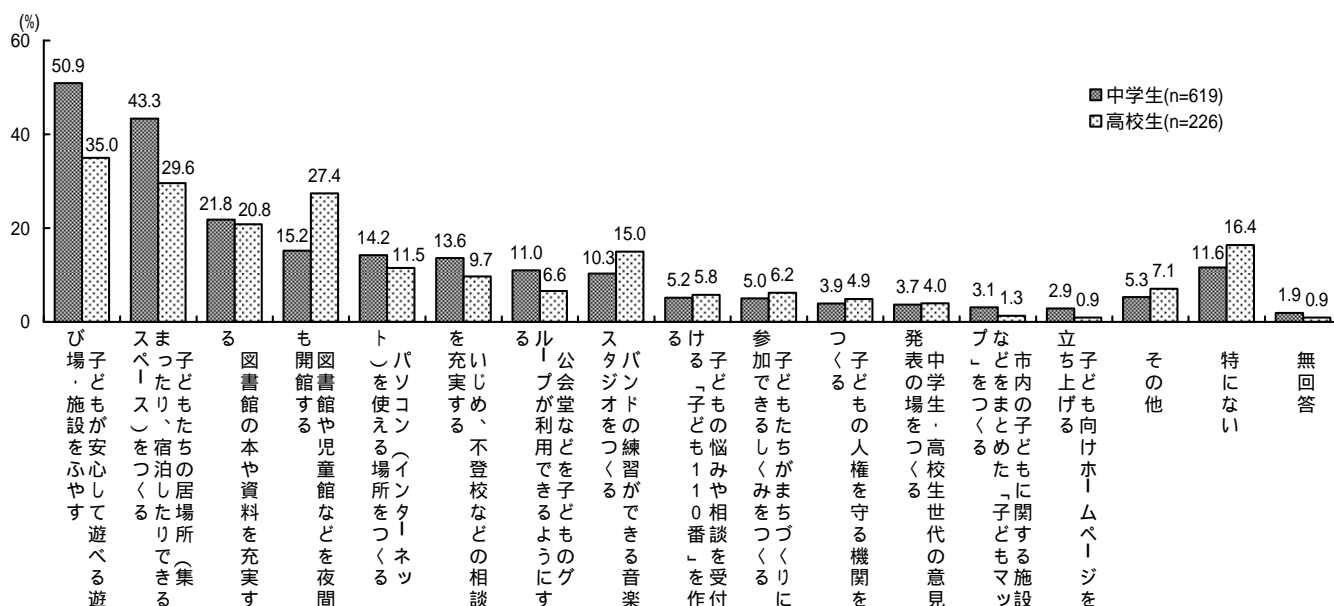
## (9) 市に実施してほしいこと

### 市への要望

市に実施してほしいことをすでに実施していることを含めてたずねました。

市に実施してほしいことは、中学生、高校生ともに1位は「子どもが安心して遊べる遊び場・施設をふやす」で、中学生は50.9%、高校生は35.0%となっている。2位は「子どもたちの居場所(集まったり、宿泊したりできるスペース)をつくる」で、中学生は43.3%、高校生は29.6%となっている。3位は中学生は「図書館の本や資料を充実する」で21.8%、高校生は「図書館や児童館などを夜間も開館する」で27.4%となっている。

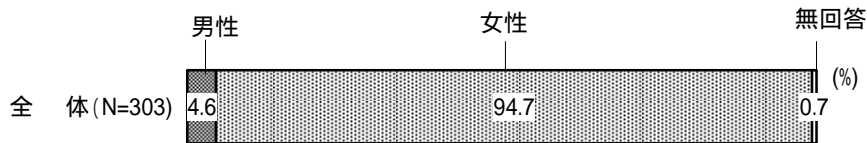
市に実施してほしいこと(中学生・高校生：複数回答)



## 4 ひとり親家庭調査

### (1) 基本属性

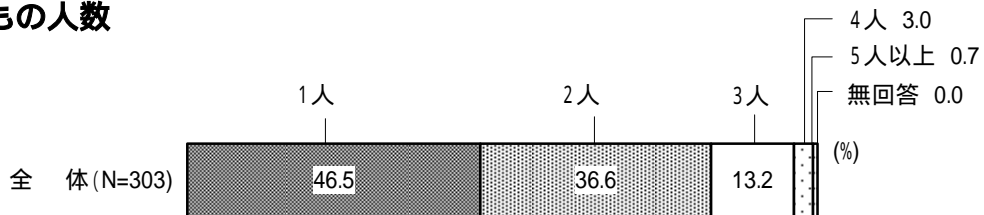
#### 回答者の性別



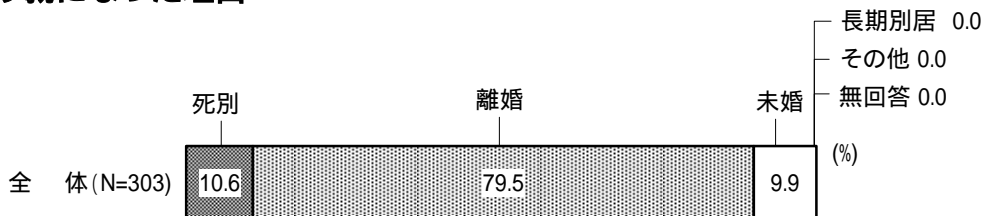
#### 回答者の年齢



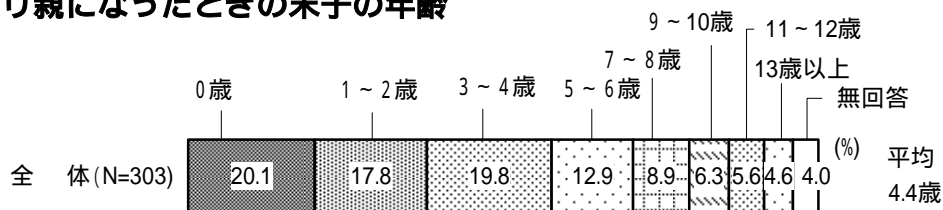
#### 子どもの人数



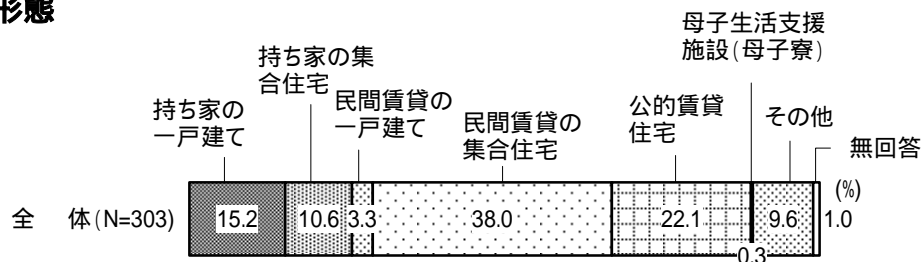
#### ひとり親になった理由



#### ひとり親になったときの末子の年齢



#### 住居形態

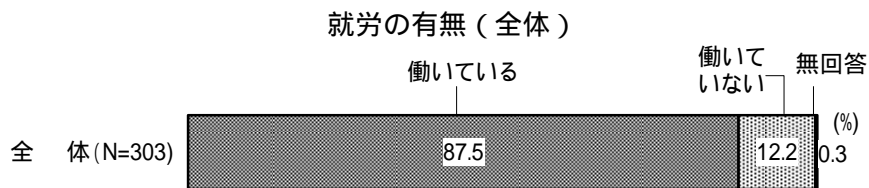


## (2) 仕事

### 仕事

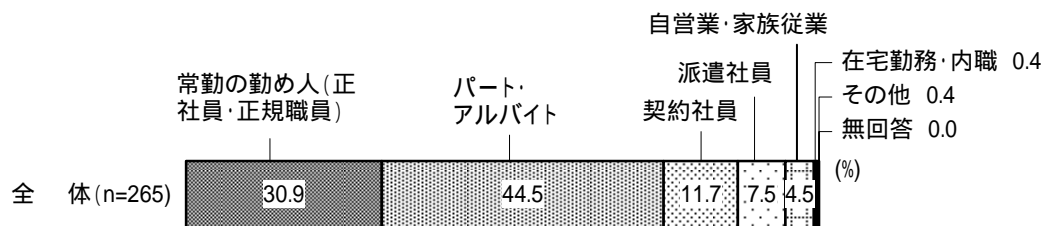
就労の有無、就労形態、職種をたずねました。

就労の有無は、「働いている」が 87.5%、「働いていない」が 12.2%となっている。



就労形態は、「パート・アルバイト」が 44.5%で最も多く、次いで「常勤の勤め人（正社員・正規職員）」が 30.9%となっている。「パート・アルバイト」の 44.5%、「契約社員」の 11.7%、「派遣社員」の 7.5%を合計した非正規雇用が 63.7%となる。

就労形態（全体）＜「働いている」と回答した人＞

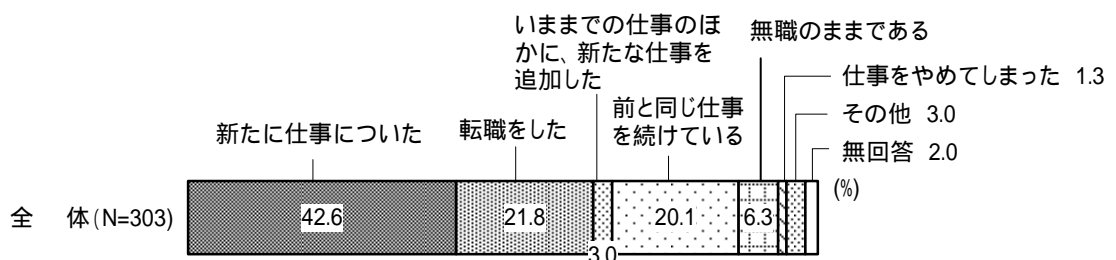


### 仕事上の変化

ひとり親になる前となった後での仕事上の変化をたずねました。

ひとり親になる前となった後での仕事上の変化は、「新たに仕事についた」が 42.6%で最も多く、次いで「転職をした」が 21.8%となっており、これらを合計すると 64.4%がひとり親になったことで就職、転職している。なお「前と同じ仕事を続けている」は 20.1%となっている。

ひとり親になる前となった後での仕事上の変化（全体）



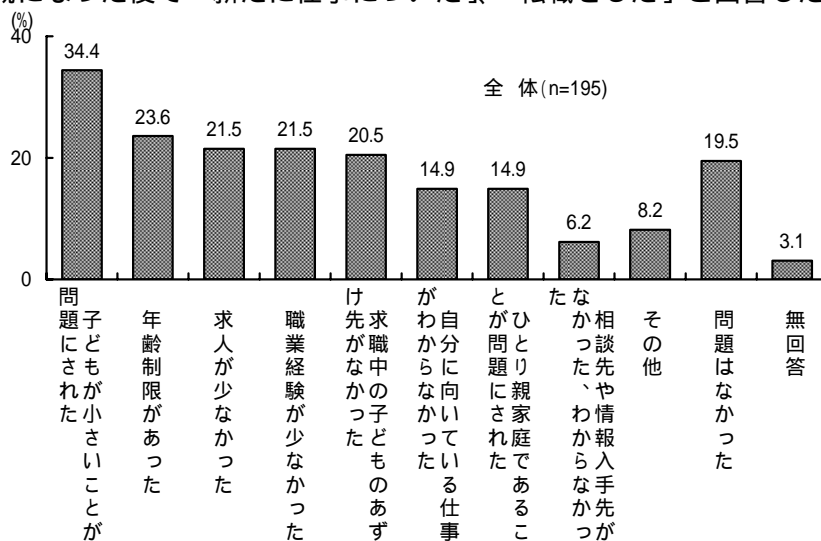
## 仕事を探しているときの問題点

ひとり親になった後で「新たに仕事についた」、「転職をした」人に仕事を探しているときの問題点をたずねました。

ひとり親になった後で「新たに仕事についた」と「転職をした」と回答した人の仕事を探しているときの問題点については、「子どもが小さいことが問題にされた」が34.4%で最も多く、次いで「年齢制限があった」が23.6%となっている。

仕事を探しているときの問題点（全体：複数回答）

<ひとり親になった後で「新たに仕事についた」、「転職をした」と回答した人>



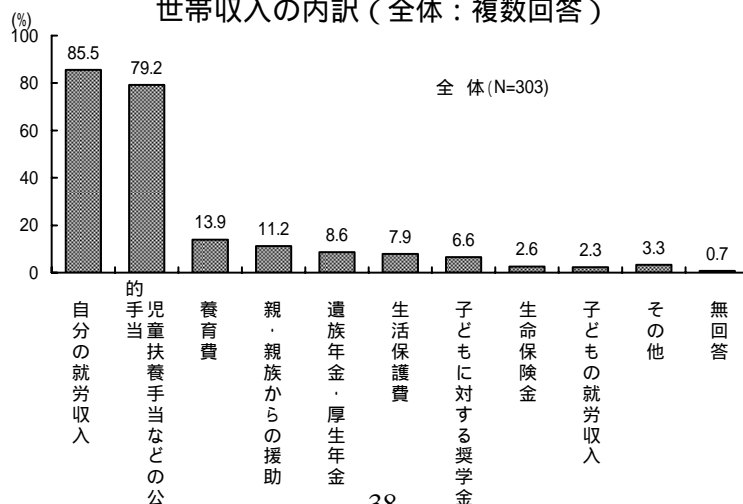
### (3) 暮らし向き

## 暮らし向き

世帯収入の内訳、ひとり親の就労収入をたずねました。

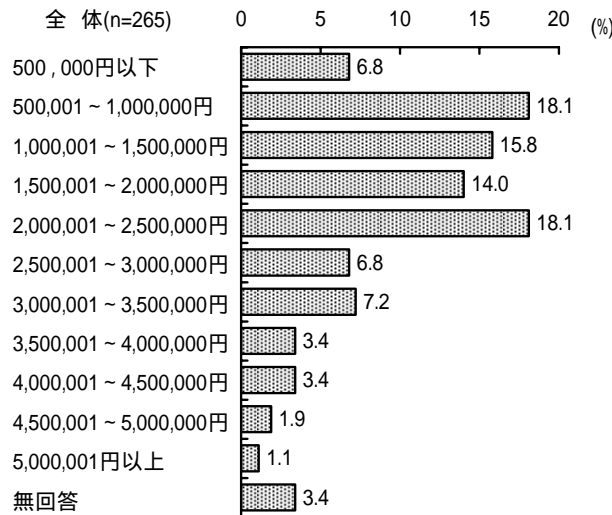
世帯収入の内訳は、「自分の就労収入」が85.5%で最も多く、次いで「児童扶養手当などの公的手当て」が79.2%となっている。また、「生活保護費」が7.9%となっている。

世帯収入の内訳（全体：複数回答）



ひとり親の就労収入は、「50万1円～100万円」と「200万1円～250万円」が18.1%で最も多く、次いで「100万1円～150万円」が15.8%、「150万1円～200万円」が14.0%となっている。100万円以下の24.9%を含め、200万円以下が54.7%となっている。

ひとり親の就労収入（全体）＜「働いている」と回答した人＞

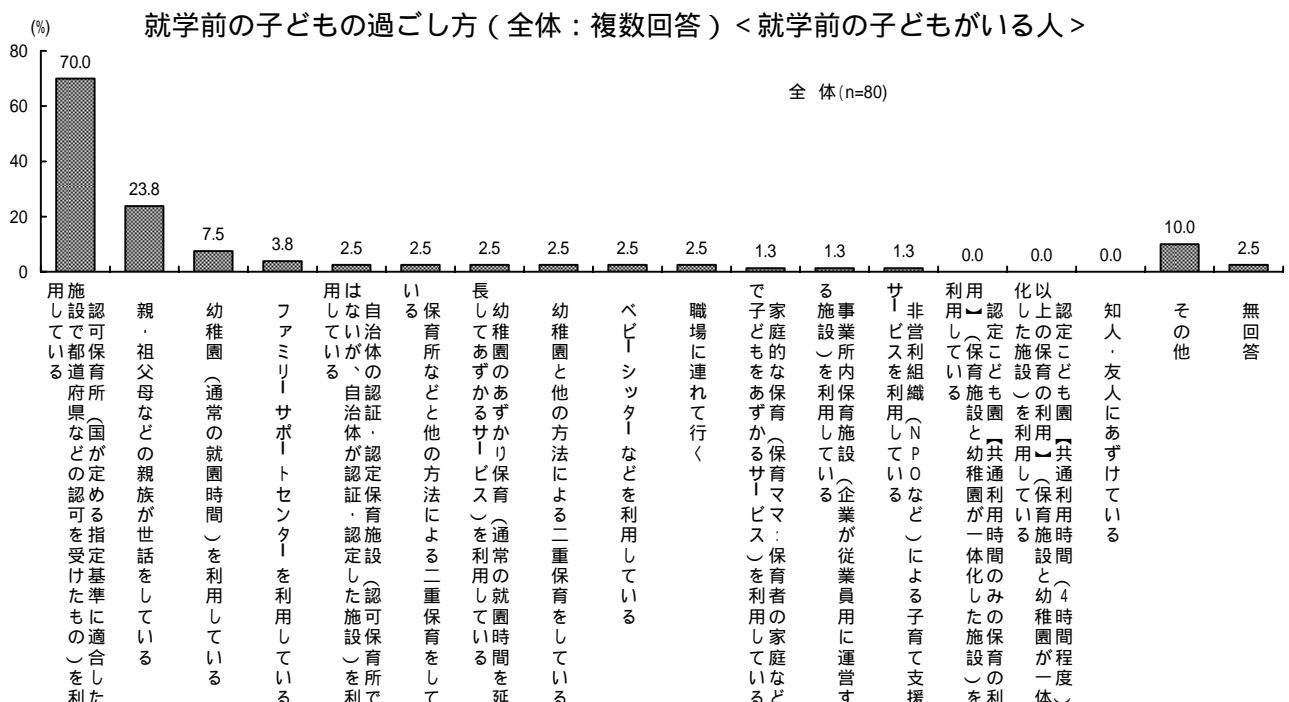


#### (4) 日ごろの子どもの過ごし方

### 日ごろの子どもの過ごし方

就学前の子どもの過ごし方、小学生の子どもの過ごし方をたずねました。

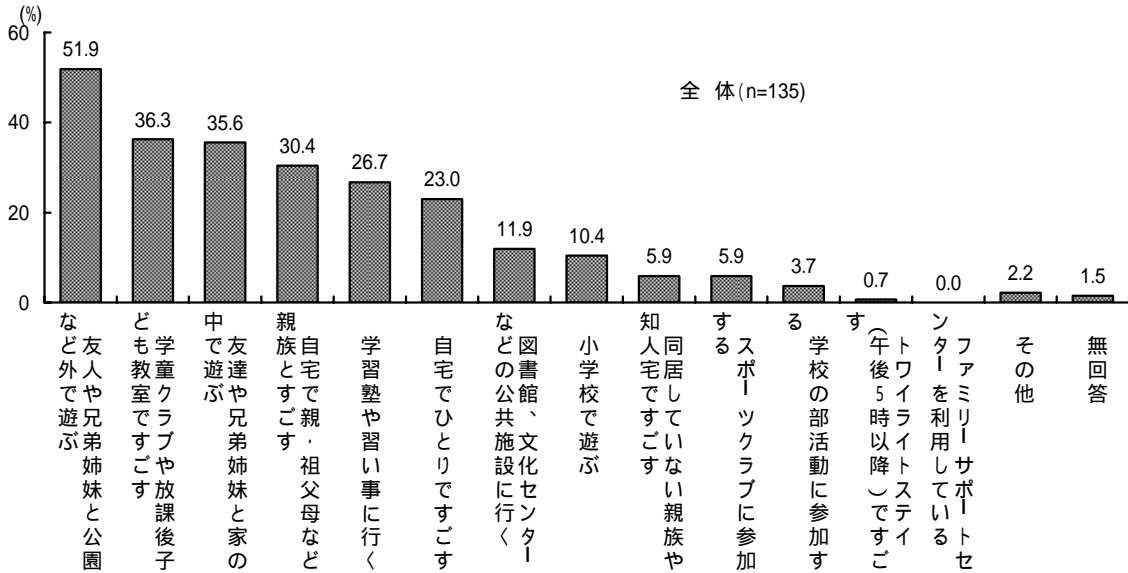
就学前の子どもの過ごし方は、「認可保育所を利用している」が70.0%で最も多く、次いで「親・祖父母などの親族が世話をしている」が23.8%となっている。





小学生の子どもがいる人に、子どもの放課後の過ごし方をたずねたところ、「友人や兄弟姉妹と公園など外で遊ぶ」が51.9%で最も多くなっている。また、公の施設を利用したり友達と過ごすの他に、「自宅でひとりですごす」が23.0%となっている。

小学生の子ども放課後の過ごし方（全体：複数回答（3つまで））＜小学生の子どもがいる人＞

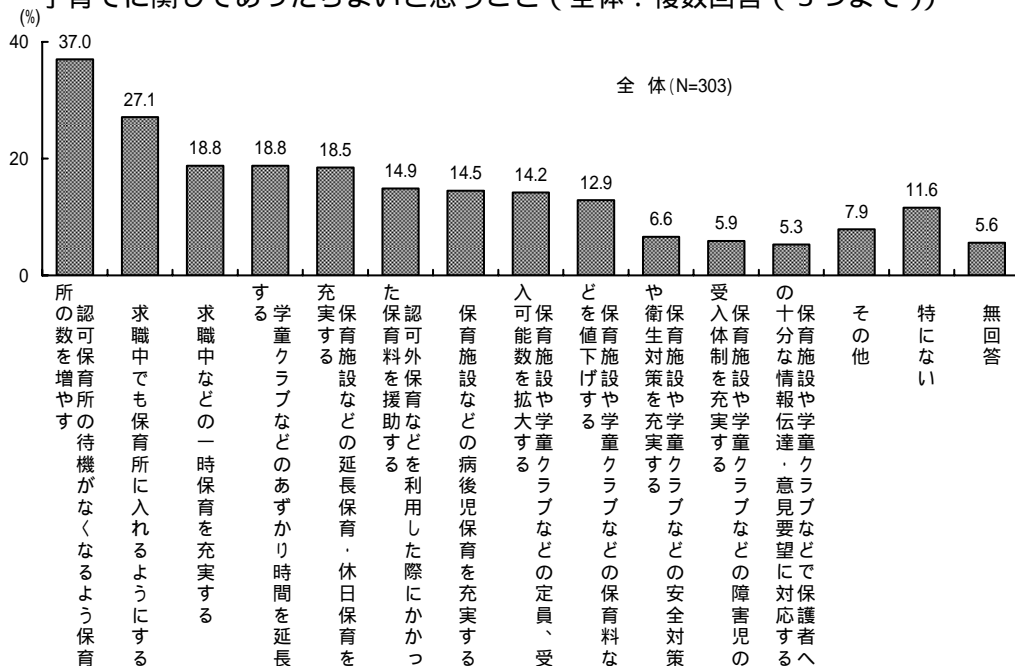


## 子育てについて必要な支援策

子育てに関してこうなったらよいと思うことをたずねました。

子育てに関してあったらよいと思うことは、「認可保育園の待機がなくなるよう保育所の数を増やす」が37.0%で最も多く、次いで「求職中でも保育所に入れるようにする」が27.1%となっている。

子育てに関してあったらよいと思うこと（全体：複数回答（3つまで））



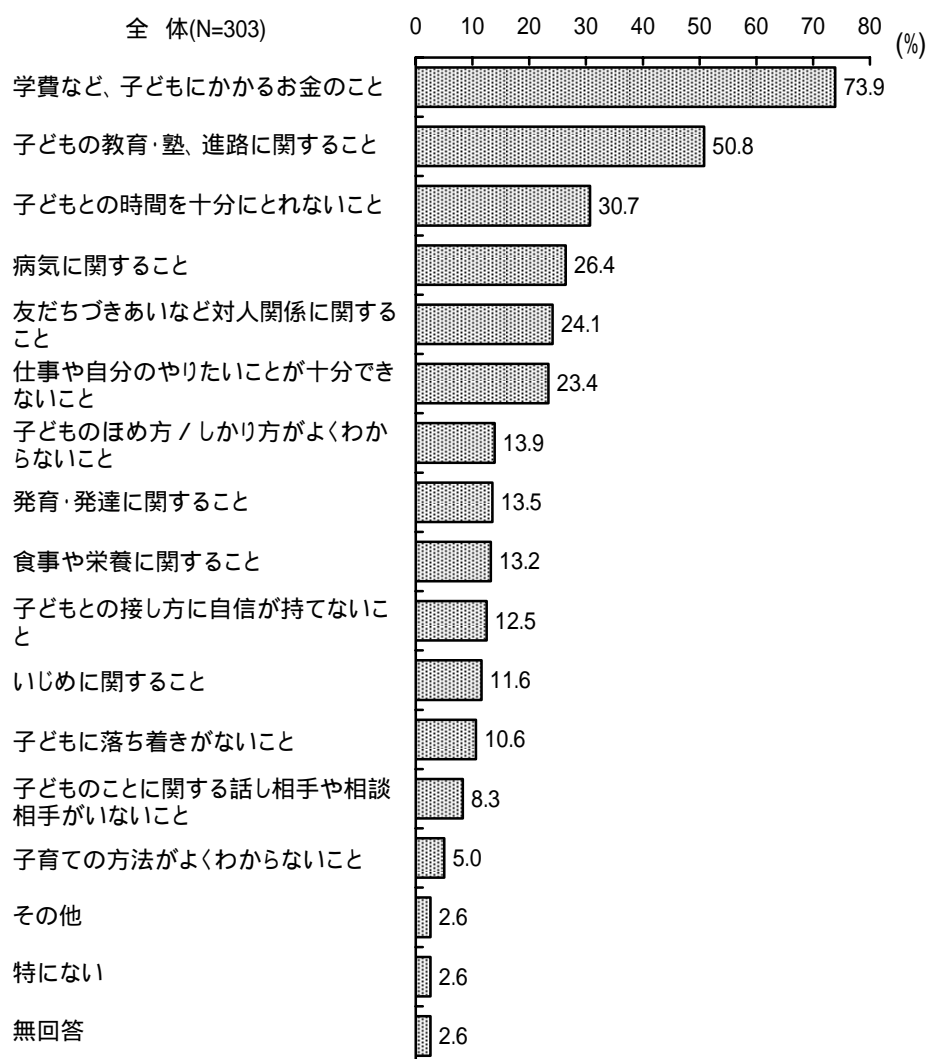
## (5) 子育ての悩み

### 子育ての悩み

子育ての中で日ごろ悩んでいること、気になることをたずねました。

子育ての中で日ごろ悩んでいること、気になることは、「学費など子どもにかかるお金のこと」が73.9%で最も多く、次いで「子どもの教育・塾、進路に関すること」が50.8%、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が30.7%となっている。

子育ての悩み（全体：複数回答）

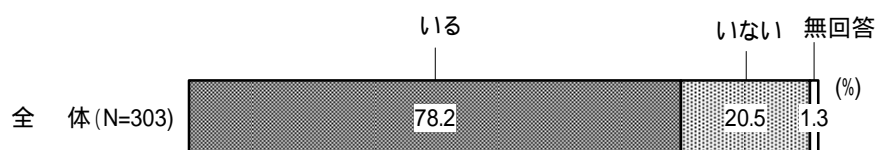


## 子育てについて相談できる人

子育てについて気軽に相談できる人をたずねました。

子育てについて気軽に相談できる人の有無は、「いる」が78.2%となっている。

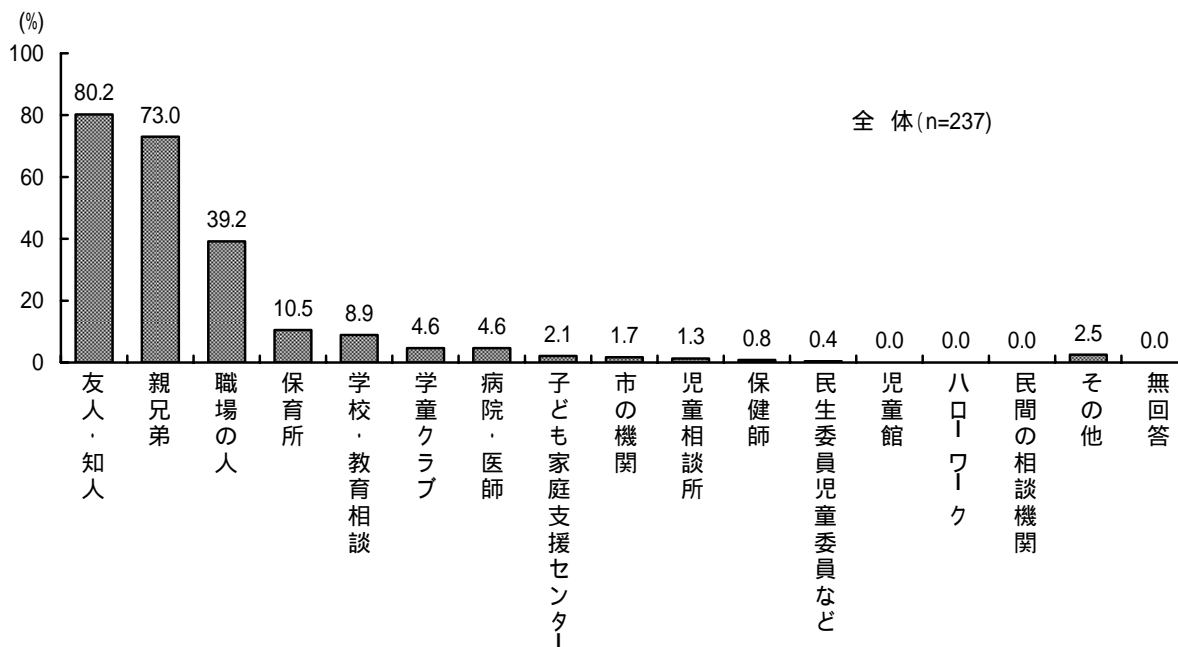
子育てについて気軽に相談できる人の有無（全体）



子育てについて気軽に相談できる人は、「友人・知人」が80.2%で最も多く、次いで「親兄弟」が73.0%、「職場の人」が39.2%となっている。

気軽に相談できる人（全体：複数回答）

<子育てについて気軽に相談できる人が「いる」と回答した人>



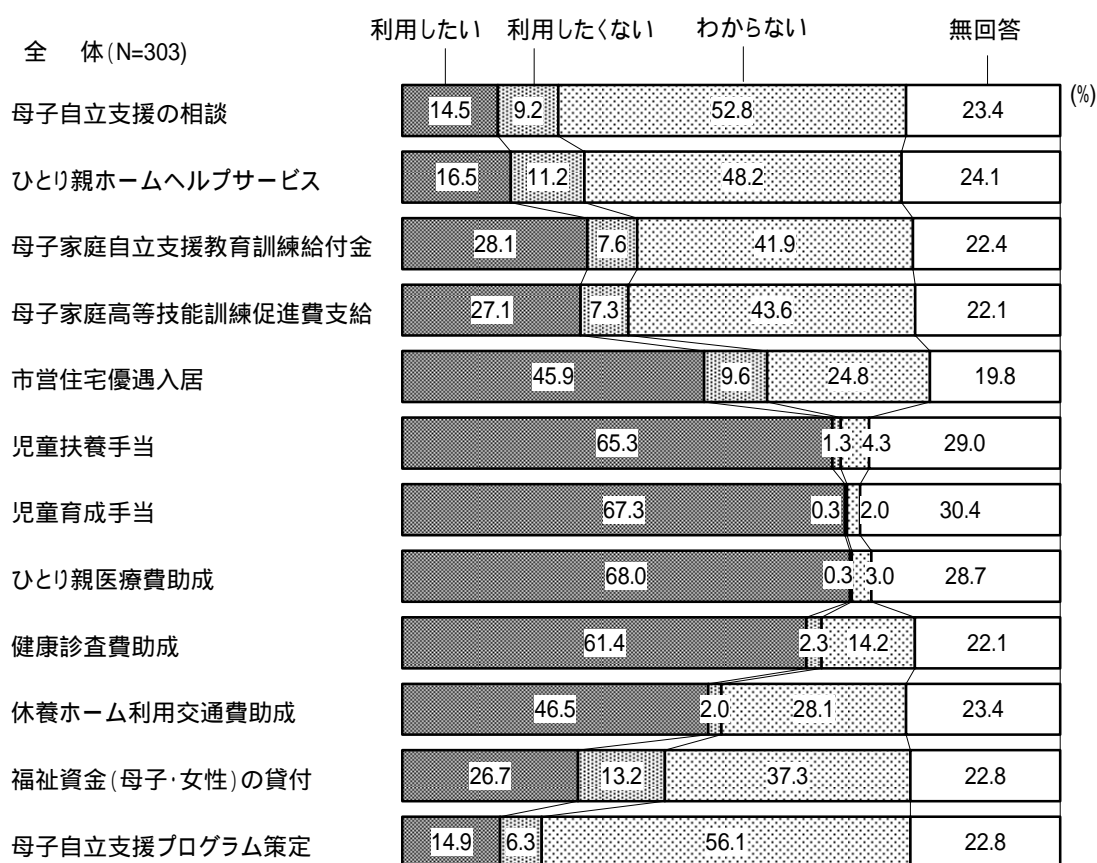
## (6) ひとり親家庭への支援制度

## 利用意向

ひとり親家庭への支援制度の利用意向をたずねました。

ひとり親家庭への支援制度の利用意向について、「利用したい」と回答した割合は、「児童育成手当」が67.3%、「児童扶養手当」が65.3%、「ひとり親医療費助成」が68.0%、「健康診査費助成」が61.4%であり、60%を超えている。

ひとり親家庭への支援制度の利用意向（全体）



府中市  
次世代育成支援に関する市民意向調査  
調査報告書＜概要版＞  
平成21年3月

発行：府中市 子ども家庭部 子育て支援課  
〒183-8703 府中市宮西町2丁目24番地  
TEL 042(335)4192（直通）

調査：株式会社生活構造研究所  
〒102-0083 千代田区麹町2丁目5番地4  
TEL 03(5275)7861

